

計画期間中における点検の実施状況等

点検計画 目次

機器又は系統名	ページ
原子炉本体	1/45
[炉心]	
[原子炉容器]	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	1/45
[燃料取扱設備]	
[使用済燃料貯蔵設備]	
[使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備]	
[燃料取替用水設備]	
原子炉冷却系統施設	4/45
[一次冷却材の循環設備]	
[主蒸気・主給水設備]	
[余熱除去設備]	
[非常用炉心冷却設備]	
[化学体積制御設備]	
[原子炉補機冷却設備]	
[原子炉補機冷却海水設備]	
[原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置]	
[蒸気タービンの附属設備]	
計測制御系統施設	19/45
[制御材]	
[制御棒駆動装置]	
[ほう酸注入機能を有する設備]	
[工学的安全施設等の作動信号]	
[制御用空気設備]	
[その他設備]	
放射性廃棄物の廃棄施設	23/45
[気体、液体又は固体廃棄物処理設備]	
放射線管理施設	24/45
[放射線管理用計測装置]	
[換気設備]	
原子炉格納施設	30/45
[原子炉格納容器]	
[圧力低減設備その他の安全設備]	
原子力設備	35/45
[その他設備]	
原子力設備・タービン設備	35/45
[その他設備]	

機器又は系統名	ページ
蒸気タービン	36/45
[車室、円板、隔板、噴口、翼、車軸]	
[調速装置及び非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁]	
[復水器]	
[蒸気タービンに附属する熱交換器]	
[蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備]	
[蒸気タービンに附属する管等]	
[その他設備]	
その他発電用原子炉の附属施設	41/45
[非常用発電装置]	
[その他の電源装置]	
[常用電源設備]	
[火災防護設備]	
[浸水防護施設]	
土木建築設備	45/45
プラント総合	45/45
全般機器	45/45

- 別紙ー1: クラス1機器供用期間中検査10年計画
- 別紙ー2: クラス2機器供用期間中検査10年計画
- 別紙ー3: クラス3機器供用期間中検査10年計画
- 別紙ー4: クラス1機器Ni基金使用部位特別検査10年計画
- 別紙ー5: クラス2管(原子炉格納容器内)特別検査10年計画
- 別紙ー6: 原子炉格納容器供用期間中検査10年計画
- 別紙ー7: 重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画
- 別紙ー8: 重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画

・点検計画

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術) ※: 炉心設計による
原子炉本体 [炉心]	照射済燃料集合体	※ 1式	高	1F	○	15回	燃料集合体外観検査	
	照射済燃料集合体 (取出燃料)	※ 1式	高	1F	○	15回	燃料集合体内配置検査	
	燃料集合体	193体	高	1F	○	15回	燃料集合体内配置検査	
原子炉本体 [原子炉容器]	内挿物 ・制御棒クラスタ ・バーナブルボイズン ・シンブルプラグアセンブリ ・2次中性子源	※ 1式	高	1F	○	15回	燃料集合体内配置検査	※: 炉心設計による
	原子炉本体のうち炉心		高	1F	○	15回	原子炉停止余裕検査	施設定検起動後
	原子炉容器		高	1F	○	15回	炉物理検査	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料取扱設備]	原子炉容器 (制御棒クラスタ案内管支持ピンおよび水位計支持管用支持ピン)	116箇所	高	13M 3F	○ -	15回 15回	構造健全性検査	
	燃料移送装置	1台	高	1F	○	15回	燃料取扱装置機能検査	
	燃料取扱クレーン	1台	高	1F 1F 26M	○ ○ -	15回 15回 15回	燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)	
使用済燃料ピットクレーン	燃料取扱クレーン	1台	高	1F 1F 26M	○ ○ -	15回 15回 15回	燃料取扱装置機能検査	先行実施
	使用済燃料ピットクレーン	1台	高	1F 1F 26M	○ ○ -	15回 15回 15回	燃料取扱装置機能検査	先行実施
	新燃料エレベータ	1台	高	1F 1F 26M	○ ○ -	15回 15回 15回	燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)	先行実施
補助建屋クレーン	補助建屋クレーン	1台	高	1F 1F 1Y	○ ○ ○	15回 15回 15回	燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)	年次点検 プラント運転中又は施設定 検停止中
	補助建屋クレーン	1台	高	1F 1F 1Y	○ ○ ○	15回 15回 15回	燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)	先行実施
	新燃料取扱工具	1台	低	1F	○	15回	燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)	先行実施

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備(診断技術) 先行実施	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【燃料取扱設備】	使用済燃料取扱工具	1. 外観点検	低	1F	○	15回	燃料取扱設備検査(動作・インテグレーション試験等)	先行実施	
	燃料反置ラック	1. 外観点検	高	1F	○	15回	燃料取扱設備検査(動作・インテグレーション試験等)		
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設「燃料取扱設備」その他機器	1. 分解点検他	高	13M~130M	○	15回			
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【使用済燃料貯蔵設備】	使用済燃料ピット温度	1. 特性試験	高	13M	○	15回	計測制御系監視機能検査		
	使用済燃料ピット水位	1. 特性試験	高	13M	○	15回	計測制御系監視機能検査		
	可搬式使用済燃料ピット水位	1. 特性試験	高	13M	○	—	計測制御系監視機能検査	15回施設設定検時に設置	
	使用済燃料ピット温度 (AM用)	1. 特性試験	高	13M	○	—	フランスト状態監視設備機能検査	15回施設設定検時に設置	
	使用済燃料ピット水位 (AM用)	1. 特性試験	高	13M	○	—	フランスト状態監視設備機能検査	15回施設設定検時に設置	
	使用済燃料ピット監視カメラ	1. 機能・性能試験	高	1F	○	—		15回施設設定検時に設置	
	使用済燃料ピット監視カメラ冷却装置	1. 機能・性能試験	高	1F	○	—	可搬型重大事故等対処設備機能検査	15回施設設定検時に設置	
	使用済燃料ピット浄化冷却設備	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機等含む)	高	1F	○	15回	使用済燃料貯蔵槽冷却浄化機能検査		
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備】	A 使用済燃料ピットポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	91M	—	14回		(振動診断: 6M) 先行実施
			2. 分解点検 (電動機)		78M	—	15回		
3. 簡易点検 (潤滑油入替 (ポンプ))				26M	○	15回			
B 使用済燃料ピットポンプ・電動機		1. 分解点検 (ポンプ)	高	91M	—	14回			(振動診断: 6M) 先行実施
		2. 分解点検 (電動機)		78M	—	14回			
		3. 簡易点検 (潤滑油入替 (ポンプ))		26M	—	15回			
送水車		2台	1. 機能・性能試験	高	1Y	○	—	可搬型重大事故等対処設備機能検査	フランスト運転中又は施設設定検停止中 15回施設設定検時に設置 先行実施
			2. 外観点検		1Y	○	—		
			1. 開放点検	高	130M	○	10回		先行実施
A 使用済燃料ピットフィルタ B 使用済燃料ピットフィルタ A 使用済燃料ピット冷却器		2台	1. 開放点検	高	130M	○	8回		先行実施
			1. 開放点検	高	195M	—	9回	1次系熱交換器検査	先行実施
			2. 非破壊試験		195M	—	9回	1次系熱交換器検査	有効性評価 No. 1 の反映
	3. 漏えい試験			195M	—	9回			
	1. 開放点検		高	195M	—	8回	1次系熱交換器検査	先行実施	
	2. 非破壊試験			195M	—	8回	1次系熱交換器検査	有効性評価 No. 1 の反映	
B 使用済燃料ピット冷却器	2台	1. 開放点検	高	195M	—	8回		先行実施	
		2. 非破壊試験		195M	—	8回			
		3. 漏えい試験		195M	—	8回			
C 使用済燃料ピット冷却器	2台	1. 開放点検	高	130M	—	—*		*:平成13年度に設置 先行実施	
		2. 漏えい試験		130M	—	—*			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 (() 内は適用する設備診断技術)
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕 その他の弁	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	15回	1次系弁検査	一部先行実施
		2. 分解点検		10M~130M		15回		
		3. 簡易点検 (グラフトパッキング替)		130M		15回		
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取替用水設備〕	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕 A 燃料取替用水ポンプ・電動機	1. 分解点検他	高・低	78M	-	15回	1次系ポンプ機能検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断 : 6 M)
		1. 機能・性能試験		B*		15回		
		2. 分解点検 (ポンプ)		130M		12回		
		3. 分解点検 (電動機)		52M		15回		
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取替用水設備〕	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕 B 燃料取替用水ポンプ・電動機	4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	高	26M	○	15回	1次系ポンプ機能検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断 : 6 M)
		1. 機能・性能試験		B*		15回		
		2. 分解点検 (ポンプ)		130M		10回		
		3. 分解点検 (電動機)		52M		15回		
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取替用水設備〕	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設〔燃料取替用水設備〕 その他の弁	4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	高・低	26M	-	15回	1次系ポンプ機能検査	一部先行実施
		1. 機能・性能試験		B		15回		
		2. 分解点検		130M		15回		
		3. 簡易点検 (グラフトパッキング替)		130M		14回		
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取替用水設備〕	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設〔燃料取替用水設備〕 その他の機器	1. 分解点検他	高	130M	-	15回	1次系ポンプ機能検査	
		1. 機能・性能試験		B		15回		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術)	
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備]	A 蒸気発生器	伝熱管 3, 382本	高	26M	-	15回	蒸気発生器伝熱管体積検査		
		1次側							
		2次側							
		1. 開放点検							
		2. 簡易点検 (スラッジランニング)							
		マンホール							
	B 蒸気発生器	伝熱管 3, 382本	高	26M	○	14回	15回	蒸気発生器伝熱管体積検査	
		1次側							
		2次側							
		1. 開放点検							
		2. 簡易点検 (スラッジランニング)							
		マンホール							
C 蒸気発生器	伝熱管 3, 382本	高	26M	-	15回	15回	蒸気発生器伝熱管体積検査		
	1次側								
	2次側								
	1. 開放点検								
	2. 簡易点検 (スラッジランニング)								
	マンホール								
D 蒸気発生器	伝熱管 3, 382本	高	26M	○	14回	15回	蒸気発生器伝熱管体積検査		
	1次側								
	2次側								
	1. 開放点検								
	2. 簡易点検 (スラッジランニング)								
	マンホール								
加圧器	加圧器安全弁	高	13M	○	15回	15回	加圧器安全弁機能検査		
	3個								
	4V-RC-055								
	4V-RC-056								
	4V-RC-057								
	4PCV-452A								
加圧器逃がし弁	加圧器逃がし弁	高	1F	○	15回	15回	加圧器逃がし弁機能検査		
	3. 分解点検								
	1. 機能・性能試験 (駆動部含む)								
	2. 漏えい試験								
	1F								
	26M								

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術)	
原子炉冷却系統施設 〔一次冷却材の循環設備〕	加圧器逃がし弁駆動部	1. 分解点検	高	26M	○	15回			
		2. 簡易点検 (特性点検)		13M	○	15回			
		1. 機能・性能試験 (駆動部含む)		1F	○	15回	加圧器逃がし弁機能検査		
	加圧器逃がし弁駆動部	2. 漏えい試験	高	1F	○	15回	15回	加圧器逃がし弁漏えい検査	
		3. 分解点検		26M	—	15回	加圧器逃がし弁分解検査		
		1. 分解点検		26M	—	15回			
	加圧器逃がし弁前弁	2. 簡易点検 (特性点検)	高	13M	○	15回			
		1. 機能・性能試験 (駆動部含む)		1F	○	15回	加圧器逃がし弁元弁機能検査		
		1. 分解点検		130M	—	13回			
	加圧器逃がし弁前弁駆動部	1. 分解点検	高	130M	—	14回			
		1. 分解点検		78M	○	15回			
		2. 簡易点検 (特性点検)		13M~78M	○	15回			
	A 1次冷却材ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	高	1F	○	15回	1次冷却材ポンプ機能検査	一部施設定検起動後
			2. 分解点検 (ポンプ)		130M	—	7回		
			3. 分解点検 (メカニカルシールポンプ)		13M	○	15回	1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	一部先行実施
			4. 分解点検 (フライホイール電動機)		104M	—	10回		
			5. 分解点検 (軸受分解電動機)		52M	—	14回		
			6. 分解点検 (全分解電動機)		104M	—	10回		
			7. 簡易点検 (潤滑油入替電動機)		26M	○	14回		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術) 一部施設定検起動後
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備]	B 1 次冷却材ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	IF	○	15回	1 次冷却材ポンプ機能検査	一部施設定検起動後
		2. 分解点検 (ポンプ)		○	8回			
		3. 分解点検 (メカニカルシール (ポンプ))		○	15回	1 次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査		
		4. 分解点検 (フライホイール (電動機))		○	8回			
		5. 分解点検 (軸受分解 (電動機))		○	12回			
		6. 分解点検 (全分解 (電動機))		○	8回			
		7. 簡易点検 (潤滑油入替 (電動機))		○	14回			
	C 1 次冷却材ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	IF	○	15回	1 次冷却材ポンプ機能検査	一部施設定検起動後
		2. 分解点検 (ポンプ)		—	15回			
		3. 分解点検 (メカニカルシール (ポンプ))		○	15回	1 次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査		
		4. 分解点検 (フライホイール (電動機))		—	9回			
		5. 分解点検 (軸受分解 (電動機))		—	13回			
		6. 分解点検 (全分解 (電動機))		—	9回			
		7. 簡易点検 (潤滑油入替 (電動機))		—	15回			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する 設備診断技術) 一部施設定検起動後
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備]	D1 次冷却材ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	15回	1 次冷却材ポンプ機能検査	
		2. 分解点検 (ポンプ)		130M	—	12回		
		3. 分解点検 (メカニカルシール ポンプ)		13M	○	15回	1 次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	一部先行実施
		4. 分解点検 (フライホイール 電動機)		104M	—	11回		
		5. 分解点検 (軸受分解 電動機)		52M	—	15回		
		6. 分解点検 (全分解 電動機)		104M	—	11回		
		7. 簡易点検 (潤滑油入替 電動機)		26M	—	15回		
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備] その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	15回	1 次系弁検査	
		2. 分解点検	高	52M~260M	○	15回		
		3. 分解点検	低	78M~130M	○	15回	1 次系弁検査	一部BMあり
		4. 簡易点検 (グラインドパッキン取替)	高・低	39M~130M	○	15回		
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備] その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	15回	1 次系弁検査	
		2. 分解点検		26M~65M	○	15回		
		3. 簡易点検 (特性能点検)		13M~65M	○	15回		
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備] その他機器	1式	1. 分解点検他	高	13M~104M	○	15回		
		2. 分解点検他	低	13M~65M	○	15回		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術)
原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備]	主蒸気安全弁	20個 B, D系 4V-MS-526B 4V-MS-527B 4V-MS-528B 4V-MS-529B 4V-MS-530B 4V-MS-526D 4V-MS-527D 4V-MS-528D 4V-MS-529D 4V-MS-530D	高	IF B 26M	○ - -	15回 15回 15回	主蒸気安全弁機能検査 主蒸気安全弁漏えい検査	
	A, C系 4V-MS-526A 4V-MS-527A 4V-MS-528A 4V-MS-529A 4V-MS-530A 4V-MS-526C 4V-MS-527C 4V-MS-528C 4V-MS-529C 4V-MS-530C	高	B 26M	○ ○	15回 15回	主蒸気安全弁漏えい検査		
主蒸気逃がし弁	4個	1. 機能・性能試験 (駆動部含む) 1. 漏えい試験 2. 分解点検	高	IF B 13M	○ ○ ○	15回 15回 15回	主蒸気逃がし弁機能検査 最終ヒートシンク熱輸送設備作動検査 主蒸気逃がし弁漏えい検査	最終ヒートシンク熱輸送設備作動検査は、15回施設設 検から設定
	4PCV-3610 4PCV-3620 4PCV-3630 4PCV-3640	高	52M 13M	○ ○	15回 15回			
	主蒸気逃がし弁駆動部	1. 分解点検 2. 簡易点検 (特性点検)	高	IF 39M 39M 39M 39M 39M 13M	○ - - ○ - ○ ○	15回 15回 15回 15回 15回 15回	主蒸気隔離弁機能検査	
主蒸気隔離弁	4個	1. 機能・性能試験 (駆動部含む) 1. 分解点検 1. 分解点検 1. 分解点検	高	IF 39M 39M 39M	○ - - ○	15回 15回 14回 13回	2次系弁検査 2次系弁検査 2次系弁検査	
	4V-MS-533A 4V-MS-533B 4V-MS-533C 4V-MS-533D	高	39M 39M 39M 13M	○ ○ ○ ○	15回 15回 15回 15回			
主蒸気隔離弁駆動部	15個	1. 機能・性能試験 (駆動部含む) 2. 分解点検 1. 分解点検 2. 簡易点検 (特性点検)	高	IF 26M 52M 13M	○ ○ ○ ○	15回 15回 15回 15回	タービンバイパス弁機能検査	
	タービンバイパス弁	高	26M 52M 13M	○ ○ ○	15回 15回 15回			
タービンバイパス弁駆動部	高	1. 分解点検 2. 簡易点検 (特性点検)	高	13M	○	15回		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術)	
原子炉冷却系統施設 〔主蒸気・主給水設備〕	原子炉冷却系統施設〔主蒸気・主給水設備〕 その他の弁	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	15回	2次系弁検査	一部BMあり	
		2. 分解点検		26M~260M	○	15回	2次系弁検査		
		3. 簡易点検 (クランパッドパッキング替)		52M~130M	○	15回			
原子炉冷却系統施設 〔主蒸気・主給水設備〕 その他の弁駆動部	原子炉冷却系統施設〔主蒸気・主給水設備〕 その他の弁駆動部	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	15回	2次系弁検査		
		2. 分解点検		26M~182M	○	15回			
		3. 簡易点検 (特性点検)		13M~182M	○	15回			
原子炉冷却系統施設 〔主蒸気・主給水設備〕 その他機器	原子炉冷却系統施設〔主蒸気・主給水設備〕 その他機器	1. 分解点検他	高	13M~104M	○	15回			
		2. 分解点検他		13M~104M	○	15回			
原子炉冷却系統施設 〔余熱除去設備〕	A 余熱除去ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B*	—	14回	1次系ポンプ機能検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断 : 3M) その他原子炉注水系ポンプ分解検査は、15回施設定検から設定 有効性評価 No. 18 の反映	
		2. 分解点検 (ポンプ)		78M	—	14回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査		
		3. 分解点検 (電動機)		91M	—	13回			
		4. 簡易点検 (メカニカルシール取替)		78M	○	15回			
		5. 簡易点検 (潤滑油入替)		26M	○	15回			
		6. 簡易点検 (潤滑油入替)		26M	○	15回			
		1. 機能・性能試験		B*	—	15回	1次系ポンプ機能検査		B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断 : 3M) その他原子炉注水系ポンプ分解検査は、15回施設定検から設定 有効性評価 No. 18 の反映
		2. 分解点検 (ポンプ)		78M	—	15回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査		
		3. 分解点検 (電動機)		91M	—	14回			
		4. 簡易点検 (メカニカルシール取替)		78M	—	15回			
		5. 簡易点検 (潤滑油入替)		26M	○	15回			
		6. 簡易点検 (潤滑油入替)		26M	○	15回			
原子炉冷却系統施設 〔余熱除去設備〕	B 余熱除去ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B*	—	15回	1次系ポンプ機能検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断 : 3M) その他原子炉注水系ポンプ分解検査は、15回施設定検から設定 有効性評価 No. 18 の反映	
		2. 分解点検 (ポンプ)		78M	—	15回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査		
		3. 分解点検 (電動機)		91M	—	14回			
		4. 簡易点検 (メカニカルシール取替)		78M	—	15回			
		5. 簡易点検 (潤滑油入替)		26M	○	15回			
		6. 簡易点検 (潤滑油入替)		26M	○	15回			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術)	
原子炉冷却系統施設 〔余熱除去設備〕	低圧注入系主要弁	4V-RH-050A	高	130M	—	11回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設定検から設定	
		4V-RH-050B	高	130M	—	13回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設定検から設定	
		4V-RH-050C	高	130M	—	12回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設定検から設定	
		4V-RH-050D	高	130M	—	8回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設定検から設定	
		4V-RH-051A	高	130M	—	12回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査		
		4V-RH-051B	高	130M	—	13回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査		
	A 余熱除去冷却器		1. 開放点検	高	130M	○	15回	1次系熱交換器検査	
			2. 非破壊試験		130M	○	6回	1次系熱交換器検査	
			3. 漏えい試験		130M	○	15回	1次系熱交換器検査	
	B 余熱除去冷却器		1. 開放点検	高	130M	—	11回	1次系熱交換器検査	
			2. 非破壊試験		130M	—	11回	1次系熱交換器検査	
			3. 漏えい試験		130M	—	11回	1次系熱交換器検査	
原子炉冷却系統施設〔余熱除去設備〕 その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	15回	1次系弁検査 1次系安全弁検査		
		2. 分解点検	高	52M~260M	○	15回	1次系弁検査		
		3. 分解点検	低	78M~130M	○	15回	1次系弁検査	一部BMあり	
		4. 簡易点検 (ブランクドパッキン取替)	高・低	65M~130M	○	15回			
原子炉冷却系統施設〔余熱除去設備〕 その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	15回	1次系弁検査		
		2. 分解点検		52M~182M	○	15回			
		3. 簡易点検 (特性点検)		13M~182M	○	15回			
原子炉冷却系統施設〔余熱除去設備〕 その他機器	1式	1. 分解点検他	高	13M~91M	○	15回			
		2. 分解点検他	低	65M~130M	—	15回			
その他AM(代替再循環) 機器	1式	1. 分解点検他	高	130M~182M	—	13回	1次系弁検査		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備]	高圧及び低圧注入系 (余熱除去設備 (低圧注入機能) を含む)	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機、弁、 弁駆動部等含む) 2. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機、状態 監視等含む)	高	IF 6M	○ ○	15回 プラント運 中	非常用炉心冷却系機能検査 運転中の主要機器機能検査 (状態監視含む)	プラント運転中 [対象設備] ・A、B 高圧注入ポンプ ・A、B 余熱除去ポンプ
	その他原子炉注水系	1. 機能・性能試験	高	IF	○	15回	その他原子炉注水系機能検査	[対象設備] ・A、B 低圧注入系 ・A、B 高圧注入系 ・B 高圧注入系 (電動機海水 冷却) ・A、B、C 充てん系 ・B 充てん系 (電動機自己冷 却) 15 回施設定検から設定
	A 高圧注入ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	130M	—	12回	非常用炉心冷却系ポンプ分 解検査 その他原子炉注水系ポンプ 分解検査は、15 回施設定検 から設定	(振動診断: 3M) その他原子炉注水系ポンプ 分解検査は、15 回施設定検 から設定 有効性評価 No. 18 の反映
		2. 分解点検 (電動機)		91M	—	15回		
		3. 簡易点検 (メカニカルシール取 替) (ポンプ)		130M	—	14回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	○	15回		
	B 高圧注入ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	130M	—	11回	非常用炉心冷却系ポンプ分 解検査 その他原子炉注水系ポンプ 分解検査	(振動診断: 3M) その他原子炉注水系ポンプ 分解検査は、15 回施設定検 から設定 有効性評価 No. 18 の反映
		2. 分解点検 (電動機)		91M	—	15回		
		3. 簡易点検 (メカニカルシール取 替) (ポンプ)		130M	—	15回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	—	15回		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する 設備診断技術) 15回施設設定検時に設置		
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備]	恒設代替低圧注水ポンプ	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機含む)	高	1F	○	—	その他原子炉注水系機能検査 原子炉格納容器安全系機能検査	15回施設設定検時に設置		
		1. 機能・性能試験 漏えい試験	高	1F	○	—		15回施設設定検時に設置		
		2. 分解点検 (ポンプ)		130M	—	—	—	その他原子炉注水系ポンプ 分解検査 原子炉格納容器安全系ポンプ 分解検査		
	可搬式代替低圧注水ポンプ・電動機	3. 分解点検 (電動機)		130M	—	—	—			
		1. 機能・性能試験	高	1Y	○	—	—	可搬式重大事故等対処設備 機能検査	プラント運転中又は施設設定 検停止中 15回施設設定検時に設置	
		2. 分解点検 (ポンプ)		10Y	—	—	—			
	高圧注入系主要弁	4V-SI-082A	3. 分解点検 (電動機)		130M	—	—			
			1. 分解点検	高	260M	—	—	—	非常用炉心冷却系主要弁 分解検査	
			2. 分解点検 (ポンプ)	高	130M	—	15回	—	非常用炉心冷却系主要弁 分解検査	
			3. 分解点検 (電動機)		130M	○	—	6回	非常用炉心冷却系主要弁 分解検査	
			1. 分解点検	高	260M	—	—	—	非常用炉心冷却系主要弁 分解検査	
			1. 分解点検	高	260M	—	—	—	非常用炉心冷却系主要弁 分解検査	
			1. 分解点検	高	260M	—	7回	—	非常用炉心冷却系主要弁 分解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、15回施設設定 検から設定	
			1. 分解点検	高	260M	—	—	5回	非常用炉心冷却系主要弁 分解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、15回施設設定 検から設定	
			1. 分解点検	高	260M	—	—	6回	非常用炉心冷却系主要弁 分解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、15回施設設定 検から設定	
			1. 分解点検	高	260M	—	—	5回	非常用炉心冷却系主要弁 分解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、15回施設設定 検から設定	
	4V-SI-072B	4V-SI-072C	1. 分解点検	高	260M	—	—	—	非常用炉心冷却系主要弁 分解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、15回施設設定 検から設定	
			1. 分解点検	高	260M	—	—	—	非常用炉心冷却系主要弁 分解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、15回施設設定 検から設定	
			1. 分解点検	高	260M	—	—	—	非常用炉心冷却系主要弁 分解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、15回施設設定 検から設定	
			1. 分解点検	高	260M	—	—	—	非常用炉心冷却系主要弁 分解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、15回施設設定 検から設定	
1. 分解点検			高	260M	—	—	—	非常用炉心冷却系主要弁 分解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、15回施設設定 検から設定		
1. 分解点検			高	260M	—	—	—	非常用炉心冷却系主要弁 分解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、15回施設設定 検から設定		
1. 分解点検			高	260M	—	—	—	非常用炉心冷却系主要弁 分解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、15回施設設定 検から設定		
1. 分解点検			高	260M	—	—	—	非常用炉心冷却系主要弁 分解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、15回施設設定 検から設定		
4V-SI-072D	4V-SI-079A	1. 分解点検	高	260M	—	—	—	非常用炉心冷却系主要弁 分解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、15回施設設定 検から設定		
		1. 分解点検	高	260M	—	—	—	非常用炉心冷却系主要弁 分解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、15回施設設定 検から設定		
		1. 分解点検	高	260M	—	—	—	非常用炉心冷却系主要弁 分解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、15回施設設定 検から設定		
		1. 分解点検	高	260M	—	—	—	非常用炉心冷却系主要弁 分解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、15回施設設定 検から設定		
4V-SI-079B	4V-SI-079C	1. 分解点検	高	260M	—	—	—	非常用炉心冷却系主要弁 分解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、15回施設設定 検から設定		
		1. 分解点検	高	260M	—	—	—	非常用炉心冷却系主要弁 分解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、15回施設設定 検から設定		
		1. 分解点検	高	260M	—	—	—	非常用炉心冷却系主要弁 分解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、15回施設設定 検から設定		
		1. 分解点検	高	260M	—	—	—	非常用炉心冷却系主要弁 分解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、15回施設設定 検から設定		
4V-SI-079D	4V-SI-079D	1. 分解点検	高	260M	—	—	—	非常用炉心冷却系主要弁 分解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、15回施設設定 検から設定		
		1. 分解点検	高	260M	—	—	—	非常用炉心冷却系主要弁 分解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、15回施設設定 検から設定		
		1. 分解点検	高	260M	—	—	—	非常用炉心冷却系主要弁 分解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、15回施設設定 検から設定		
		1. 分解点検	高	260M	—	—	—	非常用炉心冷却系主要弁 分解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、15回施設設定 検から設定		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術)	
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備]	蓄圧注入系	1. 機能・性能試験 (弁、弁駆動部含む)	高	IF	○	15回	非常用炉心冷却系機能検査 その他原子炉注水系機能検査は、15回施設定検から設定	その他原子炉注水系機能検査は、15回施設定検から設定	
		4V-SI-132A	1. 分解点検	高	130M	—	13回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設定検から設定
		4V-SI-132B	1. 分解点検	高	130M	—	14回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設定検から設定
		4V-SI-132C	1. 分解点検	高	130M	—	15回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設定検から設定
		4V-SI-132D	1. 分解点検	高	130M	○	6回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設定検から設定
		4V-SI-134A	1. 分解点検	高	130M	—	14回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設定検から設定
		4V-SI-134B	1. 分解点検	高	130M	—	8回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設定検から設定
		4V-SI-134C	1. 分解点検	高	130M	—	9回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設定検から設定
		4V-SI-134D	1. 分解点検	高	130M	—	10回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設定検から設定
		4V-SI-136A	1. 分解点検	高	130M	—	15回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設定検から設定
		4V-SI-136B	1. 分解点検	高	130M	—	11回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設定検から設定
		4V-SI-136C	1. 分解点検	高	130M	—	13回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設定検から設定
		4V-SI-136D	1. 分解点検	高	130M	—	8回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設定検から設定

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術)			
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備]	蓄圧注入系主要弁駆動部	1. 分解点検	高	182M	—	15回					
		2. 簡易点検 (特性点検)		13M~182M	○	15回					
		A 蓄圧タンク	1. 開放点検	高	130M	—			14回		
			1. 開放点検	高	130M	—			15回		
			1. 開放点検	高	130M	○			8回		
			1. 開放点検	高	130M	—			10回		
		燃料取替用水ピット	1. 外観点検	高	1F	○			15回		
			1. 外観点検	高	1F	○			15回		
		A、B格納容器再循環サンプ	1. 外観点検	高	1F	○			15回		
			2. 外観点検	高	10Y	○			—		
		原子炉冷却系統施設「非常用炉心冷却設備」 その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B			○	15回	原子炉格納容器再循環サンプスクリーン検査 1次系弁検査 1次系安全弁検査 1次系弁検査 1次系逆止弁検査
				2. 分解点検	高	65M~260M			○	15回	
				3. 分解点検	低	78M~260M			○	15回	
	4. 簡易点検 (クランドバンキン取替)			高・低	78M~130M	○	15回				
	1. 機能・性能試験			高・低	B	○	15回				
	原子炉冷却系統施設「非常用炉心冷却設備」 その他の弁駆動部	1式	2. 分解点検		65M~182M	○	15回	1次系弁検査			
			3. 簡易点検 (特性点検)		13M~182M	○	15回				
			1. 分解点検他	高	13M~91M	○	15回				
	原子炉冷却系統施設「非常用炉心冷却設備」 その他機器	3台	2. 分解点検他	低	13M~130M	○	15回	1次系弁検査			
			1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機等含む)	高	1F	○	15回				
			2. 分解点検 (ポンプ)	高	78M	—	14回				
原子炉冷却系統施設 [化学体積制御設備]	A 充てんポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	91M	○	11回	充てんポンプ冷却材補給系機能検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査 化学体積制御系充てんポンプ分解検査				
		2. 分解点検 (電動機)		26M	—	15回					
		3. 簡易点検 (メカニカルシール取替)		26M	—	15回					
		4. 簡易点検 (潤滑油入替)		26M	—	15回					
		5. 簡易点検 (潤滑油入替)		13M	○	15回					

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術)	
原子炉冷却系統施設 [化学体積制御設備]	B 充てんポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	78M	○	14回	その他原子炉注水系ポンプ分解検査 化学体積制御系充てんポンプ分解検査	(振動診断: 6M) その他原子炉注水系ポンプ分解検査は、15回施設定検から設定	
		2. 分解点検 (電動機)		91M	-	15回			
		3. 簡易点検 (メカニカルシール取替 (ポンプ))		26M	○	14回			
		4. 簡易点検 (潤滑油入替 (ポンプ))		26M	○	15回			
		5. 簡易点検 (潤滑油入替 (電動機))		13M	○	15回			
	C 充てんポンプ・電動機	4V-CS-155	1. 分解点検 (ポンプ)	高	65M	-	14回	その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(電動機 振動診断: 3M) その他原子炉注水系ポンプ分解検査は、15回施設定検から設定
			2. 分解点検 (電動機)		104M	-	13回		
			3. 簡易点検 (潤滑油入替 (ポンプ))		26M	-	15回		
			1. 分解点検		130M	-	14回		
	その他原子炉注水系主要弁	4V-CS-157	1. 分解点検	高	130M	-	15回	その他原子炉注水系主要弁分解検査 1次系弁検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設定検から設定
			1. 分解点検		130M	-	10回		
			1. 分解点検		130M	-	13回		
			1. 分解点検		130M	-	10回		
	体積制御タンク 冷却材フィルタ A 冷却材脱塩塔入口フィルタ B 冷却材脱塩塔入口フィルタ A 封水注入フィルタ B 封水注入フィルタ 非再生冷却器 封水冷却器 余剰抽出水冷却器	4V-CS-164 4V-CS-166	1. 開放点検	高	130M	-	10回	その他原子炉注水系主要弁分解検査 1次系弁検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設定検から設定
			1. 開放点検		130M	-	11回		
			1. 開放点検		130M	-	15回		
			1. 開放点検		130M	-	14回		
			1. 開放点検		130M	○	7回		
			1. 開放点検		130M	○	6回		
			1. 開放点検		130M	-	11回		
2. 非破壊試験			130M		-	11回			
3. 漏えい試験			130M		-	11回			
1. 開放点検			130M		-	12回			
2. 非破壊試験			130M		-	12回			
3. 漏えい試験			130M		-	12回			
余剰抽出水冷却器	4V-CS-166	1. 開放点検	高	130M	○	15回	その他原子炉注水系主要弁分解検査 1次系弁検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設定検から設定	
		2. 非破壊試験		130M	○	8回			
		3. 漏えい試験		130M	○	15回			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 (() 内は適用する設備診断技術)		
原子炉冷却系統施設 〔化学体積制御設備〕	原子炉冷却系統施設〔化学体積制御設備〕 その他の弁	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	15回	1次系弁検査 1次系安全弁検査			
		2. 分解点検	高	13M~260M	○	15回	1次系弁検査			
		3. 分解点検	低	78M~195M	○	15回	1次系逆止弁検査 1次系弁検査	一部BMあり		
		4. 簡易点検 (フランドバンドパッキン取替)	高・低	65M~130M	○	15回				
	原子炉冷却系統施設〔化学体積制御設備〕 その他の弁駆動部	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	○	15回	1次系弁検査		
		2. 分解点検		52M~182M	○	○	15回			
		3. 簡易点検 (特性点検)		13M~182M	○	○	15回			
		1. 分解点検他	高	13M~130M	○	○	15回			
	原子炉冷却系統施設〔化学体積制御設備〕 その他機器	2. 分解点検他	低	13M~130M	○	○	15回		一部BMあり	
		1. 機能・性能試験 (弁、弁駆動部等含む)	高	1F	○	○	15回	原子炉補機冷却系統機能検査		
		1. 機能・性能試験	高	B*	—	—	15回	1次系ポンプ機能検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断: 6M)	
		2. 分解点検 (ポンプ)		52M	—	—	15回			
	原子炉補機冷却系 (冷却水系)	A 原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	3. 簡易点検 (電動機)		91M	—	—	15回		
			4. 簡易点検 (潤滑油入替)		26M	○	○	15回		
			5. 簡易点検 (潤滑油入替)		26M	○	○	15回		
			1. 機能・性能試験	高	B*	○	○	15回	1次系ポンプ機能検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断: 6M)
2. 分解点検 (ポンプ)				52M	—	—	15回			
B 原子炉補機冷却水ポンプ・電動機		3. 簡易点検 (電動機)		91M	○	○	11回			
		4. 簡易点検 (潤滑油入替)		26M	○	○	15回			
		5. 簡易点検 (潤滑油入替)		26M	○	○	15回			
		1. 機能・性能試験	高	B*	○	○	15回	1次系ポンプ機能検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断: 6M)	
		2. 分解点検 (ポンプ)		52M	—	—	15回			
C 原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	3. 簡易点検 (電動機)		91M	—	—	13回				
	4. 簡易点検 (潤滑油入替)		26M	○	○	15回				
	5. 簡易点検 (潤滑油入替)		26M	○	○	15回				
	1. 機能・性能試験	高	B*	○	○	15回	1次系ポンプ機能検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断: 6M)		
	2. 分解点検 (ポンプ)		52M	○	○	15回				

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術)	
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却設備]	D 原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B*	-	15回	1 次系ポンプ機能検査	B*: ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断: 6M)	
		2. 分解点検 (ポンプ)		52M	-	15回			
		3. 分解点検 (電動機)		91M	-	15回			
		4. 簡易点検 (潤滑油入替 (ポンプ))		26M	-	15回			
		5. 簡易点検 (潤滑油入替 (電動機))		26M	○	15回			
	格納容器水素ガス試験冷却器用可搬型冷却水ポンプ	2台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	-	可搬型重大事故等対処設備機能検査	15回施設設定検時に設置
			1. 開放点検		130M	-	10回		
			1. 分解点検		130M	-	10回		
			1. 開放点検		13M	○	15回		
			2. 非破壊試験		13M	○	15回		
	A 原子炉補機冷却水サージタンク	1式	3. 漏えい試験	高	13M	○	15回	1 次系熱交換器検査	有効性評価 No. 2 の反映
			1. 開放点検		13M	○	15回		
			2. 非破壊試験		13M	○	15回		
			3. 漏えい試験		26M	○	15回		
			1. 開放点検		13M	○	15回		
B 原子炉補機冷却水冷却器	1式	3. 漏えい試験	高・低	B	○	15回	1 次系弁検査 1 次系安全弁検査 1 次系弁検査		
		1. 機能・性能試験		130M~260M	○	15回			
		2. 分解点検		130M~195M	○	15回			
		3. 簡易点検 (フランジパッキン取替)		B	○	15回			
		1. 機能・性能試験		B	○	15回			
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備] 其他の弁駆動部	1式	2. 分解点検	高・低	B	○	15回	1 次系弁検査		
		3. 簡易点検 (特性点検)		65M~182M	○	15回			
		1. 分解点検他		13M~182M	○	15回			
		2. 分解点検他		13M~130M	○	15回			
		1. 分解点検他		13M~65M	○	15回			
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備] 其他AM(代替補機冷却、格納容器自然対流冷却) 機器	1式	1. 分解点検他	高	13M~130M	○	15回			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術)													
原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却海水設備〕	原子炉補機冷却系 (海水系)	1. 機能・性能試験 (弁、弁駆動部等含む)	高	IF	○	15回	原子炉補機冷却系機能検査														
							A 海水ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (電動機) 4. 簡易点検 (フランジドバッキング替) (ポンプ)	高	B*	○	15回	2次系ポンプ機能検査	B*: ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施先行実施						
														104M		○	15回	2次系ポンプ分解検査	有効性評価 No. 3 の反映		
																		13M		○	15回
	B 海水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (電動機) 4. 簡易点検 (フランジドバッキング替) (ポンプ)	高	B*	○	15回	2次系ポンプ機能検査	B*: ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施先行実施													
							52M		○	15回	2次系ポンプ分解検査	有効性評価 No. 3 の反映									
											104M		○	15回							
															13M	○	15回				
	C 海水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (電動機) 4. 簡易点検 (フランジドバッキング替) (ポンプ)	高	B*	○	15回	2次系ポンプ機能検査	B*: ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施先行実施													
							52M		○	15回	2次系ポンプ分解検査	有効性評価 No. 3 の反映									
											104M		○	15回							
															13M	○	15回				
原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却海水設備〕	原子炉冷却系統施設「原子炉補機冷却海水設備」 その他の弁	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高・低	B	○	15回	2次系ポンプ機能検査														
							原子炉冷却系統施設「原子炉補機冷却海水設備」 その他の弁駆動部		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (特性点検)	高	B	○	15回	2次系弁検査							
														78M		○	15回				
																		13M~52M	○	15回	
	原子炉冷却系統施設「原子炉補機冷却海水設備」 その他機器	1. 分解点検他 2. 分解点検他	高 低	13M~65M	○	○	15回	格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置漏えい検査	一部BMあり												
								伝送器 2個		1. 特性試験	低	13M	○	15回	格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置漏えい検査						
															設定器 5個	2. 機能・性能試験	低	1F	○	15回	格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置漏えい検査
																					検出器 2個

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術)		
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービンの附属設備]	補助給水系	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機、機、弁、弁駆動部等含む)	高	1F	○	15回	補助給水系機能検査			
	A 電動補助給水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	52M	—	15回	補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断：3M)		
		2. 分解点検 (電動機)		78M	—	15回				
		3. 簡易点検 (潤滑油入替他) (ポンプ)		26M	—	15回				
		4. 簡易点検 (潤滑油入替他) (電動機)		26M	—	15回				
		B 電動補助給水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	52M	—	15回	補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断：3M)	
		2. 分解点検 (電動機)	78M		—	14回				
		3. 簡易点検 (潤滑油入替他) (ポンプ)	26M		—	15回				
		4. 簡易点検 (潤滑油入替他) (電動機)	26M		○	15回				
		タービン動補助給水ポンプ・タービン	1. 機能・性能試験 (タービン)	高	B	—	15回	2次系ポンプ機能検査	(振動診断：3M)	
			2. 分解点検		52M	—	15回			
			3. 簡易点検 (ストレーナ清掃)		26M	—	15回			
		4 復水ピット	1. 外観点検	高	1F	○	15回			
		原子炉冷却系統施設 [蒸気タービンの附属設備] その他の弁	1. 機能・性能試験		高	B	○	15回	2次系弁検査	
			2. 分解点検			78M~260M	○	15回		
			3. 簡易点検 (グラウンドバックスン取替)	130M		○	15回			
	原子炉冷却系統施設 [蒸気タービンの附属設備] その他の弁駆動部	1. 機能・性能試験	高	B	○	15回	2次系弁検査			
		2. 分解点検		78M~182M	○	15回				
		3. 簡易点検 (特性点検)		13M~182M	○	15回				
	原子炉冷却系統施設 [蒸気タービンの附属設備] その他機器	1. 分解点検他	高	13M~130M	○	15回				
	制御棒クラスタ	1. 外観点検		高	1F	○	15回	制御棒クラスタ検査	※：炉心設計による	
	バーナブルボイズン	1. 外観点検			1F	○	15回			
	2次中性子源	1. 外観点検	1F		○	15回				
	シンブルブラグラアセンブリ	1. 外観点検	高	1F	○	15回	制御棒クラスタ検査	※：炉心設計による		
計測制御系統施設 [制御材]										

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術)	
計測制御系統施設 [制御棒駆動装置]	制御棒クラスタ	1. 機能・性能試験 2. 機能・性能試験	高	IF	○	15回	制御棒駆動系機能検査		
	53本								
	A 制御棒駆動装置MGセット	1. 分解点検 2. 簡易点検 (潤滑油入替) (発電機)	高	52M 26M	○	15回 15回	制御棒クラスタ動作検査	(振動診断: 3M)	
	B 制御棒駆動装置MGセット	1. 分解点検 2. 簡易点検 (潤滑油入替) (発電機)	高	52M 26M	○	15回 15回		(振動診断: 3M)	
計測制御系統施設 [ほう酸注入機能を有する設備]	計測制御系統施設 [制御棒駆動装置] その他機器	1. 分解点検他	高・低	13M~39M	○	15回			
	A ほう酸ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B*	○	15回	ほう酸ポンプ機能検査	B*: ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断: 3M)	
	B ほう酸ポンプ・電動機	2. 分解点検 (ポンプ)			78M	○	15回	ほう酸ポンプ分解検査	
		3. 分解点検 (電動機)			52M	○	15回		
	ほう酸タンク	4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)			26M	○	15回		
		1. 機能・性能試験			B*	○	15回	ほう酸ポンプ機能検査	B*: ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断: 3M)
		2. 分解点検 (ポンプ)			78M	○	15回	ほう酸ポンプ分解検査	
		3. 分解点検 (電動機)			52M	○	15回		
	ほう酸タンク真空逃がし弁	4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)			26M	○	15回		
		1. 開放点検			130M	○	14回		
1. 分解点検				130M	○	14回	1次系真空破壊弁検査		
1. 開放点検				130M	○	13回			
ほう酸フイェルタ	1. 分解点検			130M	○	13回	1次系真空破壊弁検査		
	1. 開放点検			130M	○	15回			
	1. 機能・性能試験		高・低	B	○	15回			
	2. 分解点検			130M	○	15回			
計測制御系統施設 [ほう酸注入機能を有する設備] その他の弁	1. 特性試験		高	13M	○	—	重大事故時安全停止回路機能検査	15回施設定検時に設置	
	2. 機能・性能試験			1F	○	—	重大事故時安全停止回路機能検査		
計測制御系統施設 [工学的安全施設等の作動信号]	A TWS緩和設備								
	1式								

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術)
計測制御系統施設 [制御用空気設備]	制御用空気圧縮機	2台	高	1F	○	15回	制御用空気圧縮系機能検査	
	A 制御用空気圧縮機・電動機	1. 機能・性能試験 (空気圧縮機、電動機等含む) 1. 分解点検 (圧縮機) 2. 分解点検 (電動機)	高	13M 52M	○ ○	15回 15回		(電動機 振動診断: 6M)
	B 制御用空気圧縮機・電動機	1. 分解点検 (圧縮機) 2. 分解点検 (電動機)	高	13M 52M	○ -	15回 15回		(電動機 振動診断: 6M)
	代替制御用空気供給設備	1式	高	1F	○	-		15回施設設定検時に設置
計測制御系統施設 [制御用空気設備] その他の弁	計測制御系統施設 [制御用空気設備] その他の弁駆動部	1式	高・低	B	○	15回	1次系弁検査	
		1式	高・低	13M~195M 130M	○ ○	15回 12回	1次系弁検査	
		1式	高	B	○	15回	1次系弁検査	
計測制御系統施設 [制御用空気設備] その他機器	計測制御系統施設 [制御用空気設備] その他機器	1式	高	13M~182M 13M~182M	○ ○	15回 15回		有効性評価 No. 4 の反映
		1式	高	13M~78M 13M	○ ○	15回 15回		
計測制御系統施設 [その他設備]	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉保護系ロジック回路 安全防護系ロジック回路 パームシッピング回路 	28回路 25回路 6回路	高	1F	○	15回	安全保護系機能検査	
		<ul style="list-style-type: none"> 原子炉トリップ、工学的安全施設の始動、原子炉格納容器隔離等を行うためのすべての伝送器、設定器及び保護継電器 1次冷却材等計測装置 <ul style="list-style-type: none"> 保護継電器 伝送器 設定器 核計測装置 <ul style="list-style-type: none"> 設定器 重要な指示計器 1次冷却材等計測装置 <ul style="list-style-type: none"> 指示計 核計測装置 指示計 	6個 76個 117個 20個 31個 8個	高・低	13M	○	15回	安全保護系設定値確認検査
事故時監視計器	<ul style="list-style-type: none"> 圧力監視計器 水位監視計器 流量監視計器 温度監視計器 	2個 16個 8個 10個	高	13M	○	15回	プラント状態監視設備機能検査	
		事故時試料採取設備 格納容器雰囲気ガス試料採取設備	1台	高	1F	○	15回	プラント状態監視設備機能検査

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術)
計測制御系統施設 [その他設備]	・制御棒制御系 ・加圧器水位制御系 ・加圧器圧力制御系 ・蒸気発生器水位制御系	1式	高	1F	○	15回	計測制御系機能検査	一部施設定検起動後
	1次系及び2次系計測制御装置	1式	高・低	13M	○	15回	計測制御系監視機能検査	一部施設定検起動後
	炉外核計測装置 ・中性子源領域検出器 ・中間領域検出器 ・出力領域検出器	2個 2個 8個	高	13M	○	15回	核計装設備検査	
	炉内核計測装置 駆動装置	4台	高	1F	○	15回	核計装設備検査	
	制御棒位置指示装置		高	13M	○	15回	制御棒位置指示装置設定値検査	
	炉内計装用シンブルチェューブ	58本	高	78M	—	12回	炉内計装用シンブルチェューブ体種検査	
	総合インターロック ・原子炉トリップ(信号) (タービン、発電機トリップ) ・タービントリップ(信号) (原子炉、発電機トリップ) ・発電機トリップ(信号) (原子炉、タービントリップ)	1式	高	1F	○	15回	総合インターロック検査	
	中央制御室外の原子炉の停止制御回路	24回路	高	1F	○	15回	原子炉の停止制御回路健全性確認検査	
	恒設代替低圧注水積算流量	1個	高	13M	○	—	フランスト状態監視設備機能検査	15回施設定検時に設置
	原子炉水位	1個	高	13M	○	—	フランスト状態監視設備機能検査	15回施設定検時に設置
	AM用格納容器圧力	1個	高	13M	○	—	フランスト状態監視設備機能検査	フランスト状態監視設備機能検査は、16回施設定検から実施
	可搬型格納容器水素ガス濃度	2個	高	26M	○	15回		
	原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力	2個	高	13M	○	—	計測制御系監視機能検査	15回施設定検時に設置
	格納容器スプレイ積算流量	1個	高	13M	○	—	計測制御系監視機能検査	15回施設定検時に設置
	原子炉格納容器水位	1対	高	13M	○	—	フランスト状態監視設備機能検査	15回施設定検時に設置
	原子炉下部キャビティ水位	1対	高	1F	○	—	フランスト状態監視設備機能検査	15回施設定検時に設置
	アニユラス水素濃度	2個	高	13M	○	—	フランスト状態監視設備機能検査	15回施設定検時に設置
	可搬型格納容器水素ガス試料圧縮装置	2台	高	1F	○	—	フランスト状態監視設備機能検査 可搬型重大事故等対処設備機能検査	15回施設定検時に設置

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術)	
計測制御系統施設 [その他設備]	計測制御系統施設 [その他設備] その他の弁	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	15回	1次系安全弁検査		
		2. 分解点検	高	78M~260M	○	15回	1次系弁検査		
		3. 分解点検	低	104M~130M	—	15回	1次系逆止弁検査	一部BMあり	
		4. 簡易点検 (グラウンドバッキング取替)	高・低	65M~130M	○	15回			
	計測制御系統施設 [その他設備]	1式	1. 特性試験他	高	13M~52M	○	15回		
			2. 特性試験他	低	13M~78M	○	15回		一部BMあり
	放射線廃棄物の廃棄施設 [気体、液体又は固体廃棄物処理設備]	A 格納容器冷却材ドレンポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B*	○	15回	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施
			2. 分解点検		26M	○	15回		
			3. 分解点検 (ポンプ)		52M	—	15回		
		B 格納容器冷却材ドレンポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B*	—	15回	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施
			2. 分解点検 (ポンプ)		26M	—	15回		
			3. 分解点検 (電動機)		52M	—	15回		
A 格納容器サンポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	低	B*	○	12回	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施	
		2. 分解点検 (ポンプ)		78M	○	12回			
		3. 分解点検 (電動機)		78M	○	12回			
	B 格納容器サンポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B*	—	15回	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施	
		2. 分解点検 (ポンプ)		78M	—	15回			
		3. 分解点検 (電動機)		78M	—	15回			
A 原子炉周辺建屋サンポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	低	B*	—	14回	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施	
		2. 分解点検 (ポンプ)		195M	—	14回			
		3. 分解点検 (電動機)		156M	—	13回			
	B 原子炉周辺建屋サンポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B*	—	15回	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施	
		2. 分解点検 (ポンプ)		195M	—	15回			
		3. 分解点検 (電動機)		156M	—	13回			
流体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置機能 (最終の流入サンポンプ)	1式	1. 機能・性能試験	低	1F	○	15回	流体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置機能検査 (最終の流入サンポンプ)	先行実施	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 () 内は適用する設備(診断技術)					
放射性廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕	放射性廃棄物の廃棄施設〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕 その他の弁	1式	低	B 104M~130M	○	15回	1 次系安全弁検査	一部BMあり					
									2. 分解点検	○	15回	1 次系弁検査	
									3. 簡易点検 (グラウンドパッドキッキング替)	○	15回	1 次系逆止弁検査	
放射性廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕 その他の弁駆動部	放射性廃棄物の廃棄施設〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕 その他の弁	1式	低	B 65M~130M 13M~130M	-	15回	1. 機能・性能試験	一部先行実施					
									2. 分解点検	○	15回		
									3. 簡易点検 (特性点検)	○	15回		
放射性廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕 その他機器	放射性廃棄物の廃棄施設〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕 その他機器	1式	低	13M~130M	○	15回	1. 分解点検他	一部先行実施 一部BMあり					
									1. 特性試験	○	15回	エリアモニタ機能検査	
									1. 特性試験	○	15回	エリアモニタ機能検査	
放射線管理施設 〔放射線管理用計測装置〕	放射線管理施設〔放射線管理用計測装置〕	4R-91A	高	13M	○	15回	1. 特性試験						
									1. 特性試験	○	15回	エリアモニタ機能検査	
									1. 特性試験	○	15回	エリアモニタ機能検査	
放射線管理施設 〔放射線管理用計測装置〕	放射線管理施設〔放射線管理用計測装置〕	4R-92A	高	13M	○	15回	1. 特性試験						
									1. 特性試験	○	15回	エリアモニタ機能検査	
									1. 特性試験	○	15回	エリアモニタ機能検査	
放射線管理施設 〔放射線管理用計測装置〕	放射線管理施設〔放射線管理用計測装置〕	4R-92B	高	13M	○	15回	1. 特性試験						
									1. 特性試験	○	15回	エリアモニタ機能検査	
									1. 特性試験	○	15回	エリアモニタ機能検査	
放射線管理施設 〔放射線管理用計測装置〕	放射線管理施設〔放射線管理用計測装置〕	4R-21A	低	1F	○	15回	1. 機能・性能試験	放射線監視装置機能検査					
									2. 特性試験	○	15回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
									1. 機能・性能試験	○	15回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
放射線管理施設 〔放射線管理用計測装置〕	放射線管理施設〔放射線管理用計測装置〕	4R-21B	低	1F	○	15回	1. 機能・性能試験	放射線監視装置機能検査					
									2. 特性試験	○	15回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
									1. 機能・性能試験	○	15回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
放射線管理施設 〔放射線管理用計測装置〕	放射線管理施設〔放射線管理用計測装置〕	4R-40	低	1F	○	15回	1. 機能・性能試験	放射線監視装置機能検査					
									2. 特性試験	○	15回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
									1. 機能・性能試験	○	15回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
放射線管理施設 〔放射線管理用計測装置〕	放射線管理施設〔放射線管理用計測装置〕	4R-41	低	1F	○	15回	1. 機能・性能試験	放射線監視装置機能検査					
									2. 特性試験	○	15回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
									1. 機能・性能試験	○	15回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
放射線管理施設 〔放射線管理用計測装置〕	放射線管理施設〔放射線管理用計測装置〕	4R-43	高	1F	○	15回	1. 機能・性能試験	放射線監視装置機能検査					
									2. 特性試験	○	15回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
									1. 機能・性能試験	○	15回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
放射線管理施設 〔放射線管理用計測装置〕	放射線管理施設〔放射線管理用計測装置〕	4R-55	高	1F	○	15回	1. 機能・性能試験	放射線監視装置機能検査					
									2. 特性試験	○	15回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
									1. 機能・性能試験	○	15回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
放射線管理施設 〔放射線管理用計測装置〕	放射線管理施設〔放射線管理用計測装置〕	4R-56	低	1F	○	15回	1. 機能・性能試験	放射線監視装置機能検査					
									2. 特性試験	○	15回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
									1. 機能・性能試験	○	15回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
放射線管理施設 〔放射線管理用計測装置〕	放射線管理施設〔放射線管理用計測装置〕	4R-58	低	1F	○	15回	1. 機能・性能試験	放射線監視装置機能検査					
									2. 特性試験	○	15回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
									1. 機能・性能試験	○	15回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
放射線管理施設 〔放射線管理用計測装置〕	放射線管理施設〔放射線管理用計測装置〕	4R-65	高	13M	○	15回	1. 特性試験	放射線監視装置機能検査					
									2. 特性試験	○	15回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
									1. 特性試験	○	15回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
放射線管理施設 〔放射線管理用計測装置〕	放射線管理施設〔放射線管理用計測装置〕	4R-66	高	13M	○	15回	1. 特性試験	放射線監視装置機能検査					
									2. 特性試験	○	15回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
									1. 特性試験	○	15回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
放射線管理施設 〔放射線管理用計測装置〕	放射線管理施設〔放射線管理用計測装置〕	4R-67	高	13M	○	15回	1. 特性試験	放射線監視装置機能検査					
									2. 特性試験	○	15回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
									1. 特性試験	○	15回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
放射線管理施設 〔放射線管理用計測装置〕	放射線管理施設〔放射線管理用計測装置〕	4R-68	高	13M	○	15回	1. 特性試験	放射線監視装置機能検査					
									2. 特性試験	○	15回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
									1. 特性試験	○	15回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
放射線管理施設 〔放射線管理用計測装置〕	放射線管理施設〔放射線管理用計測装置〕	4R-70	低	13M	○	15回	1. 特性試験	放射線監視装置機能検査					
									2. 特性試験	○	15回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
									1. 特性試験	○	15回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
放射線管理施設 〔放射線管理用計測装置〕	放射線管理施設〔放射線管理用計測装置〕	4R-80A	高	13M	○	15回	1. 特性試験	放射線監視装置機能検査					
									2. 特性試験	○	15回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
									1. 特性試験	○	15回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
放射線管理施設 〔放射線管理用計測装置〕	放射線管理施設〔放射線管理用計測装置〕	4R-80B	高	13M	○	15回	1. 特性試験	放射線監視装置機能検査					
									2. 特性試験	○	15回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
									1. 特性試験	○	15回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術)
放射線管理施設 [放射線管理用計測装置]	A 主蒸気管モニタ	4R-87	高	13M	○	15回	放射線監視装置機能検査	
	B 主蒸気管モニタ	4R-88	高	13M	○	15回	放射線監視装置機能検査	
	C 主蒸気管モニタ	4R-89	高	13M	○	15回	放射線監視装置機能検査	
	D 主蒸気管モニタ	4R-90	高	13M	○	15回	放射線監視装置機能検査	
	格納容器エアロク区域エリアモニタ	4R-2	低	13M	○	15回	放射線監視装置機能検査	
	A 充てんポンプ室エリアモニタ	4R-4A	低	13M	○	15回	放射線監視装置機能検査	
	B 充てんポンプ室エリアモニタ	4R-4B	低	13M	○	15回	放射線監視装置機能検査	
	C 充てんポンプ室エリアモニタ	4R-4C	低	13M	○	15回	放射線監視装置機能検査	
	使用済燃料ピット区域エリアモニタ	4R-5	高	13M	○	15回	放射線監視装置機能検査	
	炉内計装区域エリアモニタ	4R-7	低	13M	○	15回	放射線監視装置機能検査	
放射線管理施設 [換気設備]	可搬式使用済燃料ピット区域周辺エリアモニタ	2台	高	13M	○	—	放射線監視装置機能検査	15回施設定検時に設置
	放射線管理施設 [放射線管理用計測装置]	1式	高	13M	○	15回		
	その他機器		低	13M	○	15回		
	中央制御室非常用循環系		高	1F	○	15回	中央制御室非常用循環系機能検査	
	A 中央制御室非常用循環ファン・電動機		高	91M	—	15回		(振動診断：3M)
				78M	—	12回		
	B 中央制御室非常用循環ファン・電動機		高	91M	—	12回		(振動診断：3M)
				78M	—	11回		
	中央制御室非常用循環ファンユニット	1系列	高	1F	○	15回	中央制御室非常用循環系ファンルター性能検査	X*:機能・性能試験結果により適宜実施
				X*	○	15回		
			1F	○	15回	1次系換気空調設備検査		
			260M	○	7回			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術)		
放射線管理施設 [換気設備]	A 格納容器排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	IF	○	15回	1次系換気空調設備検査	先行実施		
		2. 分解点検 (ファン)		B	—	2回		電動機分解時に分解点検を実施 先行実施		
		3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	2回			(電動機 振動診断: 1 2 M) 先行実施	
		1. 機能・性能試験		IF	○	15回		1次系換気空調設備検査	先行実施	
		2. 分解点検 (ファン)		B	○	7回			電動機分解時に分解点検を実施 先行実施	
		3. 分解点検 (電動機)		CBM	○	1回			(電動機 振動診断: 1 2 M) 先行実施	
	B 格納容器排気ファン・電動機	A 格納容器排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	IF	○	15回	1次系換気空調設備検査	(振動診断: 1 2 M) 先行実施	
			2. 分解点検 (ファン)		130M	—	12回			
			3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	2回			
			1. 機能・性能試験		IF	○	15回		1次系換気空調設備検査	(振動診断: 1 2 M) 先行実施
			2. 分解点検 (ファン)		130M	○	11回			
			3. 分解点検 (電動機)		CBM	○	1回			
	B 格納容器排気ファン・電動機	B 格納容器排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	IF	○	15回	1次系換気空調設備検査	(振動診断: 1 2 M) 先行実施	
			2. 分解点検 (ファン)		130M	—	11回			
			3. 分解点検 (電動機)		65M	○	11回			
			1. 機能・性能試験		IF	○	15回		1次系換気空調設備検査	
			2. 分解点検 (ファン)		130M	—	11回			
			3. 分解点検 (電動機)		65M	○	11回			
	A 格納容器再循環ファン・電動機	B 格納容器再循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	IF	○	15回	1次系換気空調設備検査		
			2. 分解点検 (ファン)		130M	—	15回			
			3. 分解点検 (電動機)		65M	—	15回			
			1. 機能・性能試験		IF	○	15回		1次系換気空調設備検査	
			2. 分解点検 (ファン)		130M	—	12回			
			3. 分解点検 (電動機)		65M	—	12回			
C 格納容器再循環ファン・電動機	D 格納容器再循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	IF	○	15回	1次系換気空調設備検査			
		2. 分解点検 (ファン)		130M	—	12回				
		3. 分解点検 (電動機)		65M	—	12回				
		1. 機能・性能試験		IF	○	15回		1次系換気空調設備検査		
		2. 分解点検 (ファン)		130M	—	14回				
		3. 分解点検 (電動機)		65M	—	14回				

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 (() 内は適用する設備診断技術)	
放射線管理施設 [換気設備]	A 格納容器空気浄化ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	15回	1次系換気空調設備検査		
		2. 分解点検 (ファン)		130M	—	14回			
		3. 分解点検 (電動機)		65M	—	14回			
		1. 機能・性能試験		1F	○	15回	1次系換気空調設備検査		
		2. 分解点検 (ファン)		130M	—	12回			
		3. 分解点検 (電動機)		65M	—	12回			
		1. 機能・性能試験		1F	○	15回	1次系換気空調設備検査		
		2. 分解点検 (ファン)		78M	—	15回			
		3. 分解点検 (電動機)		78M	—	15回			
	B 中央制御室循環ファン・電動機	A 中央制御室循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	15回	1次系換気空調設備検査	
			2. 分解点検 (ファン)		78M	—	15回		
			3. 分解点検 (電動機)		78M	—	14回		
			1. 機能・性能試験		1F	○	15回	1次系換気空調設備検査	
			2. 分解点検 (ファン)		78M	—	14回		
			3. 分解点検 (電動機)		78M	—	14回		
			1. 機能・性能試験		1F	○	15回	1次系換気空調設備検査	
			2. 分解点検 (ファン)		91M	—	15回		
			3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	5回		
B 中央制御室空調ファン・電動機	A 中央制御室空調ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	15回	1次系換気空調設備検査	(ファン 振動診断: 6M)	
		2. 分解点検 (ファン)		91M	—	15回			
		3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	5回			
		1. 機能・性能試験		1F	○	15回	1次系換気空調設備検査		
		2. 分解点検 (ファン)		91M	—	15回			
		3. 分解点検 (電動機)		CBM	○	4回			
		1. 機能・性能試験		1F	○	15回	1次系換気空調設備検査		
		2. 分解点検 (ファン)		91M	—	15回			
		3. 分解点検 (電動機)		CBM	○	4回			
A 補助建屋給気ファン・電動機	B 補助建屋給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	15回	1次系換気空調設備検査	(振動診断: 1 2M) 先行実施	
		2. 分解点検 (ファン)		130M	—	12回			
		3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	13回			
		1. 機能・性能試験		1F	○	15回	1次系換気空調設備検査		
		2. 分解点検 (ファン)		130M	○	11回			
		3. 分解点検 (電動機)		CBM	○	7回			
		1. 機能・性能試験		1F	○	15回	1次系換気空調設備検査		
		2. 分解点検 (ファン)		130M	○	11回			
		3. 分解点検 (電動機)		CBM	○	7回			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術) (振動診断: 1 2 M) 先行実施
放射線管理施設 [換気設備]	A 補助建屋排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	15回	1次系換気空調設備検査	() 内は適用する設備診断技術) (振動診断: 1 2 M) 先行実施
		2. 分解点検 (ファン)		130M	—	12回		
		3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	8回		
	B 補助建屋排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	15回	1次系換気空調設備検査	(振動診断: 1 2 M) 先行実施
		2. 分解点検 (ファン)		130M	—	11回		
		3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	7回		
	C 補助建屋排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	15回	1次系換気空調設備検査	(振動診断: 1 2 M) 先行実施
		2. 分解点検 (ファン)		130M	○	10回		
		3. 分解点検 (電動機)		CBM	○	3回		
	A 安全補機室冷却ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	15回	1次系換気空調設備検査	(電動機 振動診断: 3 M)
		2. 分解点検 (ファン)		104M	—	10回		
		3. 分解点検 (電動機)		104M	—	10回		
	B 安全補機室冷却ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	15回	1次系換気空調設備検査	(電動機 振動診断: 3 M)
		2. 分解点検 (ファン)		104M	○	9回		
		3. 分解点検 (電動機)		104M	○	9回		
	A ほう酸ポンプ室空調ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	15回	1次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 (ファン)		78M	—	14回		
		3. 分解点検 (電動機)		78M	—	14回		
	B ほう酸ポンプ室空調ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	15回	1次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 (ファン)		78M	○	13回		
		3. 分解点検 (電動機)		78M	○	13回		
	A 格納容器排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	低	1F	○	15回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 開放点検		BM	—	6回		
	B 格納容器排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	低	1F	○	15回	1次系換気空調設備検査	先行実施
2. 開放点検		BM		—	7回			
格納容器空気浄化フィルタユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	低	1F	○	15回	1次系換気空調設備検査		
	2. 開放点検		BM	—	8回			
A 補助建屋排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	高	1F	○	15回	1次系換気空調設備検査	先行実施	
	2. 開放点検		52M	○	14回			
B 補助建屋排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	高	1F	○	15回	1次系換気空調設備検査	先行実施	
	2. 開放点検		52M	—	14回			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術)
放射線管理施設 [換気設備]	A 格納容器給気ユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	低	1F	○	15回		先行実施
		2. 開放点検						
	B 格納容器給気ユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	低	1F	○	15回		先行実施
		2. 開放点検						
	A 中央制御室空調ユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	高	1F	○	15回		
		2. 開放点検						
	B 中央制御室空調ユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	高	1F	○	15回		
		2. 開放点検						
	A 補助建屋給気ユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	高	1F	○	15回		先行実施
		2. 開放点検						
	B 補助建屋給気ユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	高	1F	○	15回		先行実施
		2. 開放点検						
	A 安全補機室冷却ユニット	1. 開放点検	高	52M	○	15回		
		2. 開放点検						
	B 安全補機室冷却ユニット	1. 開放点検	高	52M	○	14回		
		2. 開放点検						
	A 格納容器冷却ユニット	1. 開放点検	高	52M	○	15回		
		2. 開放点検						
	B 格納容器冷却ユニット	1. 開放点検	高	52M	○	14回		
		2. 開放点検						
自動ダンパ	1式	1. 機能・性能試験 (駆動部を含む)	高・低	1F	○	15回	1 次系換気空調設備検査	一部先行実施
		2. 分解点検他						
自動ダンパ駆動部	1式	1. 分解点検	高・低	39M~65M	○	15回		一部先行実施
		2. 簡易点検 (特性点検)						
放射線管理施設 [換気設備] その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	15回	1 次系安全弁検査	一部先行実施
		2. 分解点検						
放射線管理施設 [換気設備] その他の弁駆動部	1式	3. 簡易点検 (クランパッドパッキン取替)	高・低	130M	○	15回		一部先行実施
		1. 機能・性能試験						
放射線管理施設 [換気設備] その他の機器	1式	2. 分解点検	高・低	B	○	15回	1 次系弁検査	一部先行実施
		3. 簡易点検 (特性点検)						
放射線管理施設 [換気設備] その他の機器	1式	1. 分解点検他	高・低	13M~182M	○	15回		一部先行実施
		2. 簡易点検						
放射線管理施設 [換気設備] その他の機器	1式	3. 簡易点検 (特性点検)	高・低	13M~182M	○	15回		一部先行実施
		1. 分解点検						
放射線管理施設 [換気設備] その他の機器	1式	2. 簡易点検 (潤滑油入替)	高・低	13M	○	15回		一部先行実施
		1. 分解点検						

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術)	
原子炉格納施設 [原子炉格納容器]	原子炉格納容器	1. 漏えい率試験	高	3F	—	15回	原子炉格納容器全体漏えい率検査	10年に1回は設計圧力にて実施 (15回定検において設計圧力により実施)	
	プレストレストコンクリート格納容器	1. 機能・性能試験 2. 外観点検	高	5Y	—	15回	プレストレストコンクリート格納容器供用期間中検査		
エアロック	通常用 1個	1. 漏えい率試験	高	2/3F	○	14回	原子炉格納容器局部漏えい率検査		
		2. 分解点検		52M	—	13回			
		3. 簡易点検 (潤滑油補給他)		26M	—	15回			
	非常用 1個	1. 漏えい率試験	高	2/3F	○	14回	原子炉格納容器局部漏えい率検査		
		2. 分解点検		52M	—	14回			
		3. 簡易点検 (潤滑油補給他)		26M	○	15回			
	機器搬入口	1個	1. 漏えい率試験	高	2/3F	○	14回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
			2. 開放点検		13M	○	15回		
			3. 非破壊試験		10Y	—	14回	原子炉格納容器供用期間中検査	ISIプログラムによる。 [別紙-6]
	配管貫通部 (貫通配管閉止フランジ部)	6個	1. 漏えい率試験	高	2/3F	○	14回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
2. 開放点検			開放の都度		○	14回			
電線貫通部	41個	1. 漏えい率試験	高	2/3F	○	14回	原子炉格納容器局部漏えい率検査		
		2. 開放点検		開放の都度	○	14回			
原子炉格納容器隔離弁	45個	1. 漏えい率試験	高	2/3F	○	14回	原子炉格納容器局部漏えい率検査		
		2. 機能・性能試験 (駆動部等含む)		1F	○	15回	原子炉格納容器隔離弁機能検査		
原子炉格納容器隔離 (T・V信号及びT+UV信号)により隔離される弁	16個	1. 機能・性能試験 (駆動部等含む)	高	1F	○	15回	原子炉格納容器隔離弁機能検査		
		2. 分解点検		52M	—	15回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
原子炉格納容器隔離弁	4V-CS-004A	1. 分解点検	高	52M	○	15回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		2. 機能・性能試験 (駆動部等含む)		52M	○	15回	原子炉格納容器隔離弁機能検査		
原子炉格納容器隔離 (P・V信号)により隔離される弁	4V-CS-004B	1. 分解点検	高	52M	○	15回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		2. 機能・性能試験 (駆動部等含む)		52M	—	15回	原子炉格納容器隔離弁機能検査		
原子炉格納容器隔離弁	4V-WL-042	1. 分解点検	高	13M	○	15回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		2. 機能・性能試験 (駆動部等含む)		104M	—	15回	原子炉格納容器隔離弁機能検査		
原子炉格納容器隔離弁	4V-WL-043	1. 分解点検	高	104M	—	12回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		2. 機能・性能試験 (駆動部等含む)		104M	—	15回	原子炉格納容器隔離弁機能検査		
原子炉格納容器隔離弁	4V-WL-143	1. 分解点検	高	104M	—	12回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		2. 機能・性能試験 (駆動部等含む)		104M	—	15回	原子炉格納容器隔離弁機能検査		
原子炉格納容器隔離弁	4V-WL-144	1. 分解点検	高	104M	—	15回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		2. 機能・性能試験 (駆動部等含む)		104M	—	15回	原子炉格納容器隔離弁機能検査		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術)			
原子炉格納施設 〔原子炉格納容器〕	原子炉格納容器隔離弁	4V-DP-001A	高	130M	—	7回	原子炉格納容器隔離弁分解検査				
		4V-DP-001B	高	130M	—	8回	原子炉格納容器隔離弁分解検査				
		4V-DP-002A	高	130M	—	8回	原子炉格納容器隔離弁分解検査				
		4V-DP-002B	高	130M	—	15回	原子炉格納容器隔離弁分解検査				
		4V-CS-007	高	130M	—	15回	原子炉格納容器隔離弁分解検査				
		4V-CS-310	高	130M	—	15回	原子炉格納容器隔離弁分解検査				
		4V-CS-312	高	130M	—	14回	原子炉格納容器隔離弁分解検査				
		4V-CC-342	高	130M	—	15回	原子炉格納容器隔離弁分解検査				
		4V-CC-365	高	130M	—	15回	原子炉格納容器隔離弁分解検査				
		4V-CC-401	高	130M	—	8回	原子炉格納容器隔離弁分解検査				
		4V-CC-403	高	130M	—	9回	原子炉格納容器隔離弁分解検査				
		4V-CC-427	高	130M	—	9回	原子炉格納容器隔離弁分解検査				
		4V-CC-429	高	130M	—	8回	原子炉格納容器隔離弁分解検査				
		4V-1A-508A	高	130M	—	9回	原子炉格納容器隔離弁分解検査				
		4V-1A-508B	高	130M	—	10回	原子炉格納容器隔離弁分解検査				
		原子炉格納容器隔離弁駆動部	1式	1. 分解点検 2. 簡易点検 (特性点検)	高	52M~182M 13M~182M	○ ○		15回 15回		
		原子炉格納施設〔原子炉格納容器〕 その他の弁	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分解点検	高・低	B 78M~260M 26/39M*	— — ○		15回 15回 14回	1次系弁検査 1次系安全弁検査 1次系弁検査	*：原子炉格納容器局部漏えい率検査の実施時期にあわせて実施
		原子炉格納施設〔原子炉格納容器〕 その他の弁駆動部	1式	4. 簡易点検 (グラウンドパッキン取替) 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (特性点検)	高 高・低	B 65M~182M 13M~182M	○ ○ ○		15回 15回 15回	1次系弁検査	
		原子炉格納施設〔原子炉格納容器〕 その他機器	1式	1. 分解点検他	高・低	13M~104M	○		15回		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (() 内は適用する設備診断技術)	
原子炉格納施設 〔圧力低減設備その他の安全設備〕	原子炉格納容器スプレイ系	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機、弁、弁駆動部等含む)	高	IF	○	15回	原子炉格納容器安全系機能検査	[対象設備] ・ A 格納容器スプレイポンプによる代替炉心注入系15回施設定検から設定	
		2. 機能・性能試験							
		3. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機、状態監視等含む)							
	A 格納容器スプレイポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	130M	-	12回	12回	その他原子炉注水系ポンプ分解検査 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	(振動診断: 3M) 12回は、格納容器スプレイ系ポンプ分解検査として実施 その他原子炉注水系ポンプ分解検査は、15回施設定検から設定 有効性評価 No. 18 の反映
		2. 分解点検 (電動機)							
		3. 簡易点検 (メカニカルシール取替) (ポンプ)							
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)							
		5. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)							
	B 格納容器スプレイポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	130M	-	11回	11回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	(振動診断: 3M) 11回は、格納容器スプレイ系ポンプ分解検査として実施 有効性評価 No. 18 の反映
		2. 分解点検 (電動機)							
		3. 簡易点検 (メカニカルシール取替) (ポンプ)	高	26M	○	15回			
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)							
		5. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)							
		1. 分解点検 (ポンプ)	高	130M	-	11回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	(振動診断: 3M) 11回は、格納容器スプレイ系ポンプ分解検査として実施 有効性評価 No. 18 の反映	
		2. 分解点検 (電動機)							
		3. 簡易点検 (メカニカルシール取替) (ポンプ)							
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	高	26M	○	15回			
		5. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)							
		1. 分解点検 (ポンプ)							高
2. 分解点検 (電動機)									
3. 簡易点検 (メカニカルシール取替) (ポンプ)									
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	高	26M	○	15回			
		5. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)							
		1. 分解点検 (ポンプ)							高
2. 分解点検 (電動機)									
3. 簡易点検 (メカニカルシール取替) (ポンプ)									
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	高	26M	○	15回			
		5. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)							
		1. 分解点検 (ポンプ)							高
2. 分解点検 (電動機)									
3. 簡易点検 (メカニカルシール取替) (ポンプ)									
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	高	26M	○	15回			
		5. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)							
		1. 分解点検 (ポンプ)							高
2. 分解点検 (電動機)									
3. 簡易点検 (メカニカルシール取替) (ポンプ)									
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	高	26M	○	15回			
		5. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)							
		1. 分解点検 (ポンプ)							高
2. 分解点検 (電動機)									
3. 簡易点検 (メカニカルシール取替) (ポンプ)									
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	高	26M	○	15回			
		5. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)							
		1. 分解点検 (ポンプ)							高
2. 分解点検 (電動機)									
3. 簡易点検 (メカニカルシール取替) (ポンプ)									
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	高	26M	○	15回			
		5. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)							
		1. 分解点検 (ポンプ)							高
2. 分解点検 (電動機)									
3. 簡易点検 (メカニカルシール取替) (ポンプ)									
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	高	26M	○	15回			
		5. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)							
		1. 分解点検 (ポンプ)							高
2. 分解点検 (電動機)									
3. 簡易点検 (メカニカルシール取替) (ポンプ)									
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	高	26M	○	15回			
		5. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)							
		1. 分解点検 (ポンプ)							高
2. 分解点検 (電動機)									
3. 簡易点検 (メカニカルシール取替) (ポンプ)									
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	高	26M	○	15回			
		5. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)							
		1. 分解点検 (ポンプ)							高
2. 分解点検 (電動機)									
3. 簡易点検 (メカニカルシール取替) (ポンプ)									
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	高	26M	○	15回			
		5. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)							
		1. 分解点検 (ポンプ)							高
2. 分解点検 (電動機)									
3. 簡易点検 (メカニカルシール取替) (ポンプ)									
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	高	26M	○	15回			
		5. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)							
		1. 分解点検 (ポンプ)							高
2. 分解点検 (電動機)									
3. 簡易点検 (メカニカルシール取替) (ポンプ)									
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	高	26M	○	15回			
		5. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)							
		1. 分解点検 (ポンプ)							高
2. 分解点検 (電動機)									
3. 簡易点検 (メカニカルシール取替) (ポンプ)									
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	高	26M	○	15回			
		5. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)							
		1. 分解点検 (ポンプ)							高
2. 分解点検 (電動機)									
3. 簡易点検 (メカニカルシール取替) (ポンプ)									
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	高	26M	○	15回			
		5. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)							
		1. 分解点検 (ポンプ)							高
2. 分解点検 (電動機)									
3. 簡易点検 (メカニカルシール取替) (ポンプ)	高	26M	-	15回	15回				
4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)									
5. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)									

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術)	
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備]	A 格納容器スプレイ冷却器	1. 開放点検	高	130M	—	10回	1 次系熱交換器検査		
		2. 非破壊試験		130M	—	10回	1 次系熱交換器検査		
		3. 漏えい試験		130M	—	10回			
	B 格納容器スプレイ冷却器	1. 開放点検	高	130M	—	9回	1 次系熱交換器検査		
		2. 非破壊試験		130M	—	9回	1 次系熱交換器検査		
		3. 漏えい試験		130M	—	9回			
	原子炉格納容器スプレイ系主要弁	4V-CP-024A	1. 分解点検	高	78M	○	11回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	11回は、原子炉格納容器スプレイ系主要弁分解検査として実施
			1. 分解点検		78M	—	15回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
			1. 分解点検		130M	—	13回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
			1. 分解点検		130M	—	14回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
	原子炉格納容器スプレイ系主要弁駆動部一式	一式	1. 分解点検	高	182M 13M~182M	○	14回		
			2. 簡易点検 (特性点検)		130M	—	15回		
	よう素除去薬品タンク	よう素除去薬品タンク真空逃がし弁 2台	1. 開放点検	高	130M	—	10回		
			1. 分解点検		130M	—	10回	1 次系真空破露弁検査	
	A アニユラス空気浄化ファン・電動機		1. 機能・性能試験 (ファン、電動機、弁、弁駆動部、ダンパ、ダンパ駆動部等含む)	高	1F	○	15回	アニユラス循環排気系機能検査	
			1. 分解点検 (ファン)		B	—	4回		
	B アニユラス空気浄化ファン・電動機		2. 分解点検 (電動機)	高	CBM	—	8回		(電動機 振動診断：1 M)
			1. 分解点検 (ファン)		B	○	3回		
	A, B アニユラス空気浄化フィルタユニット		2. 分解点検 (電動機)	高	CBM	○	7回		(電動機 振動診断：1 M)
			1. 機能・性能試験 (よう素フィルタ)		1F	○	15回	アニユラス循環排気系フィルタ性能検査	
A アニユラス空気浄化フィルタユニット		2. 開放点検 (フィルタ取替)	高	X*	○	15回		X*: 機能・性能試験結果により適宜実施	
		1. 機能・性能試験 (差圧確認)		1F	○	15回	1 次系換気空調設備検査		
B アニユラス空気浄化フィルタユニット		2. 開放点検	高	260M	—	14回			
		1. 機能・性能試験 (差圧確認)		1F	○	15回	1 次系換気空調設備検査		
		2. 開放点検		260M	—	15回			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術)	
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備]	可燃性ガス濃度制御系主要弁	4V-VS-102A	1. 分解点検	高	65M	—	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査は、15回施設設定検から設定	
		4V-VS-102B	1. 分解点検	高	65M	—	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査は、15回施設設定検から設定	
		4V-VS-103A	1. 分解点検	高	65M	—	15回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査は、15回施設設定検から設定
		4V-VS-103B	1. 分解点検	高	65M	—	15回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査は、15回施設設定検から設定
	静的触媒式水素再結合装置	5個	1. 機能・性能試験	高	5F	—	—	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	15回施設設定検時に設置
			2. 外観点検 (触媒プレート)		5F	—	—		
			3. 外観点検 (本体)		1F	○	—		
	原子炉格納容器水素燃焼装置	14個	1. 外観点検	高	1F	○	—		
			2. 絶縁抵抗測定		1F	○	—		
			3. 抵抗測定		1F	○	—		
			4. 機能・性能試験 (シーケンス試験)		1F	○	—		原子炉格納容器水素燃焼装置機能検査
	静的触媒式水素再結合装置 温度監視装置	原子炉格納容器水素燃焼装置 温度監視装置	1. 特性試験	高	13M	○	—	計測制御系監視機能検査	15回施設設定検時に設置
			1. 特性試験	高	13M	○	—	計測制御系監視機能検査	15回施設設定検時に設置
			1. 機能・性能試験	高・低	B	○	15回	1次系弁検査 1次系安全弁検査	
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備] その他の弁	1式	2. 分解点検		104M~130M	○	15回	1次系弁検査 1次系安全弁検査		
		3. 簡易点検 (グラウンドパッキン取替)		78M~130M	○	15回	1次系逆止弁検査		
		1. 機能・性能試験	高	B	○	15回	1次系弁検査		
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備] その他の機器	1式	2. 分解点検	高	78M~182M	○	15回			
		3. 簡易点検 (特性点検)		13M~182M	○	15回			
		1. 機能・性能試験	高	10F	—	14回			
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備] その他のAM (格納容器内注水) 機器	1式	2. 分解点検他	高	91M~130M	○	15回			
		1. 分解点検他	高	130M	—	14回	1次系逆止弁検査		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術)
原子力設備 [その他設備]	クラス1機器 (供用期間中検査対象) (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象含む)	1. 非破壊試験 2. 漏えい試験	高	10Y 1F	○ ○	15回 15回	クラス1機器供用期間中検査 クラス1機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。 [別紙-1]
	クラス2機器 (供用期間中検査対象) (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象含む)	1. 非破壊試験 2. 漏えい試験	高	10Y	○	15回	クラス2機器供用期間中検査 クラス2機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。 [別紙-2]
	クラス3機器 (供用期間中検査対象)	1. 非破壊試験 2. 漏えい試験	高	10Y	○	15回	クラス3機器供用期間中検査 クラス3機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。 [別紙-3]
	クラス1機器Ni基金使用部位 (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象含む)	1. 非破壊試験	高	5Y	○	15回	供用期間中特別検査のうち クラス1機器Ni基金使用 部位特別検査	ISIプログラムによる。 [別紙-4]
	クラス2管 (原子炉格納容器内) (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象含む)	1. 非破壊試験	高	25%/10Y	○	15回	供用期間中特別検査のうち クラス2管 (原子炉格納容 器内) 特別検査	ISIプログラムによる。 [別紙-5]
	重大事故等クラス2機器	1. 非破壊試験 2. 漏えい試験	高	5~10Y 10Y	○ ○	15回 15回	重大事故等クラス2機器供 用期間中検査 重大事故等クラス2機器供 用期間中検査	ISIプログラムによる。 [別紙-7] 15回施設検時に設定
	重大事故等クラス3機器	1. 漏えい試験	高	10Y	—	—	重大事故等クラス3機器供 用期間中検査	ISIプログラムによる。 [別紙-8] 16回施設検時から設定
	クラス3・クラス4の配管等	1. 外観点検	高	100%/10Y	○	15回	構造健全性検査	排気筒については5Fで実 施
RCPBのベント・ドレン弁シート部 1次冷却材管ホップレストレイント	1式	1. 漏えい試験	高	13M	○	15回	構造健全性検査	
	84箇所	1. 外観点検	高	1F	○	15回	レストレイント検査	
主蒸気配管ホップレストレイント 主給水配管ホップレストレイント	4箇所	1. 外観点検	高	1F	○	15回	レストレイント検査	
	10箇所	1. 外観点検	高	1F	○	15回	レストレイント検査	
原子力設備 [その他設備] その他の弁	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (特許点検)	高・低	B 65M~260M 78M~130M	○ ○ ○	15回 15回 15回	1次系弁検査	
	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (特許点検)	高・低	B 65M~130M 13M~130M	○ ○ ○	15回 15回 15回		
原子力設備 [その他設備] その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (特許点検)	高・低	B 65M~130M 13M~130M	○ ○ ○	15回 15回 15回		
	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (特許点検)	高	13M~130M 13M~130M	○ ○	15回 15回		
原子力設備・タービン設備 [その他設備]	1式	1. 外観点検	高	100%/10Y	○	15回	耐震健全性検査	一部BMあり クラス1, 2, 3 供用期間 中検査対象機器を除く
	1式	1. 外観点検	高	100%/10Y	○	15回	耐震健全性検査	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術) 14回定検時に蒸気タービン取替実施	
蒸気タービン [車室、円板、隔板、噴口、翼、車軸]	高圧タービン	1. 開放点検	高	26M	○	14回	蒸気タービン開放検査	14回定検時に蒸気タービン取替実施	
		2. 組立状況点検		26M	○	14回	蒸気タービン開放検査		
		3. 簡易点検 (軸受箱内部清掃他)		13M	○	15回			
	第1 低圧タービン	1. 開放点検	高	26M	—	15回	蒸気タービン開放検査	14回定検時に蒸気タービン取替実施	
		2. 外観点検		2F	○	12回	蒸気タービン開放検査		
		3. 簡易点検 (軸受箱内部清掃他)		13M	○	15回			
	第2 低圧タービン	1. 開放点検	高	26M	○	14回	蒸気タービン開放検査	14回定検時に蒸気タービン取替実施	
		2. 外観点検		2F	—	15回	蒸気タービン開放検査		
		3. 簡易点検 (軸受箱内部清掃他)		13M	○	15回			
	第3 低圧タービン	1. 開放点検	高	26M	—	15回	蒸気タービン開放検査	14回定検時に蒸気タービン取替実施	
		2. 外観点検		2F	○	12回	蒸気タービン開放検査		
		3. 簡易点検 (軸受箱内部清掃他)		13M	○	15回			
	蒸気タービン [調速装置及び非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁]	ローアライメント 調速装置および非常用調速装置	1. 組立状況点検	高	B	○	15回	蒸気タービン開放検査	
			1. 外観点検		1F	○	15回	蒸気タービン開放検査	
			1. 開放点検		13M	○	15回	蒸気タービン開放検査	
1 主蒸気止め弁		MSV-1	1. 組立状況点検	高	B	○	15回	蒸気タービン開放検査	
			2. 組立状況点検		13M	○	15回	蒸気タービン開放検査	
2 主蒸気止め弁		MSV-2	1. 開放点検	高	B	○	15回	蒸気タービン開放検査	
			2. 組立状況点検		13M	○	15回	蒸気タービン開放検査	
3 主蒸気止め弁		MSV-3	1. 開放点検	高	B	○	15回	蒸気タービン開放検査	
			2. 組立状況点検		13M	○	15回	蒸気タービン開放検査	
4 主蒸気止め弁		MSV-4	1. 開放点検	高	B	○	15回	蒸気タービン開放検査	
			2. 組立状況点検		13M	○	15回	蒸気タービン開放検査	
1 蒸気加減弁		GOV-1	1. 開放点検	高	B	○	15回	蒸気タービン開放検査	
			2. 組立状況点検		13M	○	15回	蒸気タービン開放検査	
2 蒸気加減弁		GOV-2	1. 開放点検	高	B	○	15回	蒸気タービン開放検査	
			2. 組立状況点検		13M	○	15回	蒸気タービン開放検査	
3 蒸気加減弁	GOV-3	1. 開放点検	高	B	○	15回	蒸気タービン開放検査		
		2. 組立状況点検		13M	○	15回	蒸気タービン開放検査		
4 蒸気加減弁	GOV-4	1. 開放点検	高	B	○	15回	蒸気タービン開放検査		
		2. 組立状況点検		13M	○	15回	蒸気タービン開放検査		
A 1 再熱蒸気止め弁	A1-RSV	1. 開放点検	高	26M	○	15回	蒸気タービン開放検査		
		1. 開放点検		26M	○	14回	蒸気タービン開放検査		
		1. 開放点検		26M	○	15回	蒸気タービン開放検査		
B 1 再熱蒸気止め弁	B1-RSV	1. 開放点検	高	26M	○	15回	蒸気タービン開放検査		
		1. 開放点検		26M	○	15回	蒸気タービン開放検査		
		1. 開放点検		26M	○	14回	蒸気タービン開放検査		
B 2 再熱蒸気止め弁	B2-RSV	1. 開放点検	高	26M	○	14回	蒸気タービン開放検査		
		1. 開放点検		26M	○	14回	蒸気タービン開放検査		
		1. 開放点検		26M	○	14回	蒸気タービン開放検査		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術)	
蒸気タービン [調速装置及び非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁]	A 1 インターセプト弁	1. 開放点検	高	26M	○	15回	蒸気タービン開放検査		
	A 2 インターセプト弁	1. 開放点検	高	26M	○	14回	蒸気タービン開放検査		
	A 3 インターセプト弁	1. 開放点検	高	26M	○	15回	蒸気タービン開放検査		
	B 1 インターセプト弁	1. 開放点検	高	26M	○	15回	蒸気タービン開放検査		
	B 2 インターセプト弁	1. 開放点検	高	26M	○	14回	蒸気タービン開放検査		
	B 3 インターセプト弁	1. 開放点検	高	26M	○	14回	蒸気タービン開放検査		
	蒸気タービン [復水器]	復水・循環水系	1. 機器・性能試験 (ポンプ、電動機含む)	高	1F	○	15回	蒸気タービン附属設備機能検査	
			1. 開放点検	高	13M	○	15回	蒸気タービン開放検査	
			1. 開放点検 (非破壊試験)	高	78M	—	14回		
			2. 開放点検 (漏えい試験)		78M	—	14回		
			1. 開放点検 (非破壊試験)	高	78M	—	13回		
			2. 開放点検 (漏えい試験)		78M	—	13回		
	復水器 3 A		1. 開放点検	高	78M	—	12回		
			2. 開放点検 (非破壊試験)		78M	—	12回		
			1. 開放点検 (非破壊試験)	高	78M	○	11回		
			2. 開放点検 (漏えい試験)		78M	○	11回		
			1. 開放点検 (非破壊試験)	高	78M	—	13回		
			2. 開放点検 (漏えい試験)		78M	—	14回		
復水器 2 B		1. 開放点検 (非破壊試験)	高	78M	—	15回			
		2. 開放点検 (漏えい試験)		78M	—	15回			
		1. 分解点検 (電動機)	高	65M	—	15回			
		3. 簡易点検 (潤滑導入装置点検)		26M	—	15回			
		1. 分解点検 (ポンプ)	高	52M	○	14回			
		2. 分解点検 (電動機)		65M	○	14回			
A 循環水ポンプ・電動機		3. 簡易点検 (潤滑導入装置点検)		26M	—	15回			
		1. 分解点検 (ポンプ)	高	52M	○	14回			
		2. 分解点検 (電動機)		65M	○	14回			
		3. 簡易点検 (潤滑導入装置点検)		26M	○	15回			
		1. 分解点検 (ポンプ)	高	52M	○	14回			
		2. 分解点検 (電動機)		65M	○	14回			
B 循環水ポンプ・電動機		3. 簡易点検 (潤滑導入装置点検)		26M	○	15回			
		1. 分解点検 (ポンプ)	高	52M	○	14回			
		2. 分解点検 (電動機)		65M	○	14回			
		3. 簡易点検 (潤滑導入装置点検)		26M	○	15回			
		1. 分解点検 (ポンプ)	高	52M	○	14回			
		2. 分解点検 (電動機)		65M	○	14回			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術) (振動診断: 6M)
蒸気タービン [復水器]	A 復水器真空ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機)	高	52M 78M	- -	15回 15回		
	B 復水器真空ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機)	高	52M 78M	○ -	14回 14回		(振動診断: 6M)
	A 復水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	-	15回		
	B 復水ポンプ・電動機	2. 分解点検 (電動機)	高	78M	-	13回		
	C 復水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機)	高	39M 78M	○ -	15回 14回		
	蒸気タービン [復水器] 1式 その他機器	1. 分解点検 (電動機) 2. 分解点検 (ポンプ)	高	78M	-	15回		
	A 湿分分離加熱器 (胴側)	1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 漏えい試験	高	13M~260M 13M~130M	○ ○	15回 15回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	一部BMあり
	B 湿分分離加熱器 (胴側)	1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 漏えい試験	高	26M 130M 130M	- - -	15回 13回 13回		
	C 第1 低圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 漏えい試験	高	65M 130M 65M	- - -	14回 14回 9回	2次系熱交換器検査	
	B 第1 低圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 漏えい試験	高	65M 130M 65M	- - -	14回 10回 15回	2次系熱交換器検査	
	C 第1 低圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 漏えい試験	高	65M 130M 65M	○ - -	11回 11回 15回	2次系熱交換器検査	
	A 第2 低圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 漏えい試験	高	65M 130M 65M	- - -	14回 14回 14回	2次系熱交換器検査	
B 第2 低圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 漏えい試験	高	65M 130M 65M	- - -	15回 15回 15回	2次系熱交換器検査		
C 第2 低圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 漏えい試験	高	65M 130M 65M	○ ○ ○	11回 9回 11回	2次系熱交換器検査		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術)
蒸気タービン [蒸気タービンに附属する熱交換器]	A 第3 低圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 漏えい試験	高	65M 130M 65M	- - -	12回 12回 12回	2次系熱交換器検査	
	B 第3 低圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 漏えい試験	高	65M 130M 65M	- - -	13回 13回 13回	2次系熱交換器検査	
	A 第4 低圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 漏えい試験	高	65M 130M 65M	- - -	12回 9回 12回	2次系熱交換器検査	
	B 第4 低圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 漏えい試験	高	65M 130M 65M	- - -	13回 9回 13回	2次系熱交換器検査	
	A 第5 低圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 漏えい試験	高	65M 130M 65M	- - -	13回 14回 9回	2次系熱交換器検査	
	B 第5 低圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 漏えい試験	高	65M 130M 65M	- - -	14回 15回 10回	2次系熱交換器検査	
	脱気タンク	1. 開放点検	高	39M	-	14回	2次系容器検査	
	A 脱気器	1. 開放点検	高	39M	○	13回	2次系容器検査	
	B 脱気器	1. 開放点検	高	39M	-	14回	2次系容器検査	
	A 第7 高圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 漏えい試験	高	130M 130M 130M	- - -	14回 14回 14回	2次系熱交換器検査	
	B 第7 高圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 漏えい試験	高	130M 130M 130M	- - -	15回 15回 15回	2次系熱交換器検査	
	グラウンド蒸気復水器	1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 漏えい試験	高	65M 130M 65M	- - -	13回 9回 13回	2次系熱交換器検査	
	給水、復水系	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機含む)	高	1F	○	15回	蒸気タービン附属設備機能検査	
	Aタービン動主給水ポンプ・タービン	1. 機能・性能試験 (タービン) 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (タービン)	高	B 52M 52M	○ ○ ○	14回 14回 14回	2次系ポンプ機能検査 2次系ポンプ分解検査	
	Aタービン動主給水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (ポンプ)	高	52M 78M 13M	- - ○	13回 14回 15回		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術)	
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備〕	Bタービン動主給水ポンプ・タービン	1. 機語・性能試験 (タービン)	高	B	—	15回	2次系ポンプ機能検査		
		2. 分解点検 (ポンプ)		52M	—	15回			
		3. 分解点検 (タービン)		52M	—	15回			
	Bタービン動主給水ポンプ・タービン	Bタービン動主給水ポンプ・タービン	1. 分解点検 (ポンプ)	高	52M	—	15回	2次系ポンプ分解検査	
			2. 分解点検 (電動機)		78M	—	10回		
			3. 簡易点検 (ポンプ)		13M	○	15回		
	電動主給水ポンプ・電動機	電動主給水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	130M	—	15回	2次系ポンプ分解検査	
			2. 分解点検 (電動機)		52M	—	15回		
			1. 分解点検 (ポンプ)		78M	○	12回		
	電動主給水ポンプ・電動機	電動主給水ポンプ・電動機	2. 分解点検 (電動機)	高	78M	—	15回		
			3. 簡易点検 (ポンプ)		13M	○	15回		
			1. 分解点検 (ポンプ)		78M	○	13回		
	A復水ブースタポンプ・電動機	A復水ブースタポンプ・電動機	2. 分解点検 (電動機)	高	78M	—	13回		
			3. 簡易点検 (ポンプ)		13M	○	15回		
			1. 分解点検 (ポンプ)		78M	○	12回		
B復水ブースタポンプ・電動機	B復水ブースタポンプ・電動機	2. 分解点検 (電動機)	高	78M	—	15回			
		3. 簡易点検 (ポンプ)		13M	○	15回			
		1. 分解点検 (ポンプ)		78M	○	12回			
C復水ブースタポンプ・電動機	C復水ブースタポンプ・電動機	2. 分解点検 (電動機)	高	78M	—	15回			
		3. 簡易点検 (ポンプ)		13M	○	15回			
		1. 分解点検 (ポンプ)		78M	—	15回			
4 A 復水ろ過器 4 B 復水ろ過器 4 A 復水脱塩塔 4 B 復水脱塩塔 4 C 復水脱塩塔 4 D 復水脱塩塔 4 E 復水脱塩塔 4 F 復水脱塩塔 蒸気タービン〔蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備〕その他機器	4 A 復水ろ過器 4 B 復水ろ過器 4 A 復水脱塩塔 4 B 復水脱塩塔 4 C 復水脱塩塔 4 D 復水脱塩塔 4 E 復水脱塩塔 4 F 復水脱塩塔 蒸気タービン〔蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備〕その他機器	1. 開放点検	高	65M	—	15回	2次系容器検査 2次系容器検査 2次系容器検査 2次系容器検査 2次系容器検査 2次系容器検査 2次系容器検査 2次系容器検査 2次系容器検査 2次系容器検査 2次系容器検査	有効性評価 No. 19 の反映 有効性評価 No. 19 の反映	
		1. 開放点検		65M	—	15回			
		1. 開放点検		130M	—	12回			
		1. 開放点検		130M	—	13回			
		1. 開放点検		130M	—	14回			
		1. 開放点検		130M	—	9回			
		1. 開放点検		130M	—	10回			
		1. 開放点検		130M	—	11回			
		1. 開放点検他		13M~156M	○	15回			
		2. 分解点検他		13M~130M	○	15回			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術)
蒸気タービン [蒸気タービンに附属する管等]	主な配管 (主蒸気系統・抽気系統・ドレン系統)	1. 開放点検 2. 非破壊試験	高	13M 肉厚管理指針による	○ ○	15回 15回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
	2次系配管等* (上記「蒸気タービン主な配管」以外の主蒸気系統・給水系統・抽気系統・ドレン系統・復水系統・その他の系統) *: 配管のほか、タービン、ポンプ、熱交換器、弁等を含む	1. 外観点検* 2. 非破壊試験	高・低	10Y 肉厚管理指針による	○ ○	15回 15回	2次系配管検査 2次系配管検査	施設定検起動後
蒸気タービン [その他設備]	蒸気タービン及び附属設備	1. 保安装置点検 2. 負荷点検	高	1F 1F	○ ○	15回 15回	蒸気タービン性能検査 総合負荷性能検査	一部施設定検起動後 施設定検起動後
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高・低 高	B 13M~260M	○ ○	15回 15回	2次系安全弁検査	
	蒸気タービン [その他設備] その他の弁駆動部	3. 分解点検 4. 簡易点検 (グラランドパッキング取替)	低 高・低	13M~260M 52M~130M	○ ○	15回 15回		有効性評価 No. 13 の反映
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (特性点検)	高・低	B 52M~182M 13M~182M	○ ○ ○	15回 15回 15回		
蒸気タービン [その他設備] その他機器 その他AM(格納容器器内注水) 機器	1式	1. 分解点検他 2. 分解点検他	高 低	13M~130M 13M~260M	○ ○	15回 15回		有効性評価 No. 14 の反映
		1. 分解点検他	高	130M~182M	○	14回	1次系弁検査	一部BMあり
		1. 機能・性能試験	高	1F	○	15回	非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機定格容量検査) 非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機の作動検査)	
その他発電用原子炉の附属施設 [非常用発電装置]	2台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	15回	非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機)	
		46台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	15回	非常用炉心冷却設備作動信号及び原子炉格納容器スプレイ作動信号受信時にディーゼル発電機に電源を求めめる機器

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術)			
その他発電用原子炉の附属施設 [非常用発電装置]	Aディーゼル発電機	1. 分解点検他	高	13M~104M	○	15回					
	Aディーゼル機関	1. 分解点検他	高	13M~156M	○	15回					
	Aディーゼル機関のピストン、ピストン 連接棒、クランク軸	No. 1, 9	1. 分解点検	高	130M	—	10回	非常用ディーゼル発電機分 解検査			
		No. 2, 10	1. 分解点検	高	130M	—	12回	非常用ディーゼル発電機分 解検査			
		No. 3, 11	1. 分解点検	高	130M	—	14回	非常用ディーゼル発電機分 解検査			
		No. 4, 12	1. 分解点検	高	130M	—	15回	非常用ディーゼル発電機分 解検査			
		No. 5, 13	1. 分解点検	高	130M	○	9回	非常用ディーゼル発電機分 解検査			
		No. 6, 14	1. 分解点検	高	130M	—	11回	非常用ディーゼル発電機分 解検査			
		No. 7, 15	1. 分解点検	高	130M	—	13回	非常用ディーゼル発電機分 解検査			
		No. 8, 16	1. 分解点検	高	130M	—	15回	非常用ディーゼル発電機分 解検査			
	Aディーゼル機関のシリンダカバー	No. 1-4, 9-12	1. 分解点検	高	26M	—	15回	非常用ディーゼル発電機分 解検査			
		No. 5-8, 13-16	1. 分解点検	高	26M	○	15回	非常用ディーゼル発電機分 解検査			
		No. 1-4, 9-12	1. 分解点検	高	26M	—	15回	非常用ディーゼル発電機分 解検査			
		No. 5-8, 13-16	1. 分解点検	高	26M	○	15回	非常用ディーゼル発電機分 解検査			
		Aディーゼル機関の吸気弁	No. 1-4, 9-12	1. 分解点検	高	26M	—	15回	非常用ディーゼル発電機分 解検査		
			No. 5-8, 13-16	1. 分解点検	高	26M	○	15回	非常用ディーゼル発電機分 解検査		
			Aディーゼル機関の排気弁	No. 1-4, 9-12	1. 分解点検	高	26M	—	15回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
				No. 5-8, 13-16	1. 分解点検	高	26M	○	15回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
	Bディーゼル発電機	No. 1, 9	1. 分解点検他	高	13M~104M	○	15回				
		Bディーゼル機関のピストン、ピストン 連接棒、クランク軸	No. 1, 9	1. 分解点検	高	13M~156M	○	15回	非常用ディーゼル発電機分 解検査		
No. 2, 10			1. 分解点検	高	130M	—	10回	非常用ディーゼル発電機分 解検査			
No. 3, 11			1. 分解点検	高	130M	—	12回	非常用ディーゼル発電機分 解検査			
No. 4, 12			1. 分解点検	高	130M	—	14回	非常用ディーゼル発電機分 解検査			
No. 5, 13			1. 分解点検	高	130M	—	15回	非常用ディーゼル発電機分 解検査			
No. 6, 14			1. 分解点検	高	130M	○	9回	非常用ディーゼル発電機分 解検査			
No. 7, 15			1. 分解点検	高	130M	—	11回	非常用ディーゼル発電機分 解検査			
No. 8, 16	1. 分解点検		高	130M	—	13回	非常用ディーゼル発電機分 解検査				
		1. 分解点検	高	130M	—	15回	非常用ディーゼル発電機分 解検査				

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術)	
その他発電用原子炉の附属施設 [非常用発電装置]	Bディーゼル機関のシリンダカバー	1. 分解点検	高	26M	○	15回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
		1. 分解点検	高	26M	○	15回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
	Bディーゼル機関の吸気弁	1. 分解点検	高	26M	○	15回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
		1. 分解点検	高	26M	○	15回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
	Bディーゼル機関の排気弁	1. 分解点検	高	26M	○	15回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
		1. 分解点検	高	26M	○	15回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
	Bディーゼル機関の燃料噴射弁	1. 分解点検	高	26M	○	15回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
		1. 分解点検	高	26M	○	15回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
	ディーゼル発電機付属設備	1式	1. 外観点検	高	1F	○	15回		非常用予備発電機付属設備検査
			2. 分解点検		26M~130M	○	15回		
			3. 開放点検		26M~130M	○	15回		非常用予備発電機付属設備検査
			4. 非破壊試験		13M	○	15回		
			5. 漏えい試験		13M	○	15回		
			6. 機能・性能試験		1F	○	15回		非常用予備発電機付属設備検査
			7. 特性試験		13M	○	15回		非常用予備発電機付属設備検査
	空冷式非常用発電装置	2台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	15回		その他非常用発電装置の機能検査 その他非常用発電装置の付属設備検査
			2. 取替他		120M	○	—		有効性評価 No. 15 の反映
	電源車 (可搬式代替低圧注水ポンプ用)	2台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	—		可搬式代替電源設備検査
			1. 機能・性能試験	高	1F	○	—		15回施設定検時に設置
	電源車	2台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	—		15回施設定検時に設置
1. 開放点検			高	10Y	—	—	プラント運転中又は施設定検停止中 15回施設定検時に設置		
重油タンク	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	15回	非常用予備発電機付属設備検査		
		2. 分解点検		26M~130M	○	15回			
その他発電用原子炉の附属施設「非常用発電装置」 その他の弁	1式	1. 分解点検他	高	13M~130M	○	15回			
		2. 分解点検他	低	13M~130M	○	15回	一部BMあり		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術)
その他発電用原子炉の附属施設 [その他の電源装置]	直流電源装置蓄電池	1. 機能・性能試験	高	1F	○	15回	直流電源系機能検査 直流電源系作動検査 インバータ機能検査	
	計器用電源	1. 機能・性能試験 1. 分解点検他	高	1F	○	15回		
	可搬型整流器	1. 外観点検 2. 電圧測定	高	1F	○	—		15回施設設定検時に設置
	可搬型バッテリー(加圧器逃がし弁用)	1. 外観点検 2. 電圧測定	高	1F	○	—		15回施設設定検時に設置
	その他発電用原子炉の附属施設 [その他の電源装置] その他機器	1. 分解点検他 2. 分解点検他	高	13M~26M	○	15回		
	発電機設備	1. 分解点検他	高	13M~104M	○	15回		
	変圧器設備	1. 分解点検他	高・低	13M~78M	○	15回		
	しゃ断器	1. 分解点検他	高・低	52M~156M	○	15回		有効性評価 No. 16 の反映
	その他発電用原子炉の附属施設 [常用電源設備] その他機器	1. 分解点検他 2. 分解点検他	高 低	13M~156M 13M~104M	○	15回		
	煙等流入防止装置 その他発電用原子炉の附属施設 [火災防護設備] その他機器	1. 外観点検 1. 特性試験他	高 低	1F 13M	○	—		15回施設設定検時に設置 15回施設設定検時に設置
その他発電用原子炉の附属施設 [浸水防護施設]	堰、浸水防止堰、伝播防止堰	1. 外観点検	高	10Y	—	—		プラント運転中又は施設設定 検停止中 15回施設設定検時に設置
	水密扉	1. 外観点検	高	1Y	○	—		プラント運転中又は施設設定 検停止中 15回施設設定検時に設置
	潮位計	1. 機能・性能試験	高	4F	○	15回	計測制御系監視機能検査	計測制御系監視機能検査 は、16回施設設定検から実施
	A湧水サンポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 取替	低	B* 5Y	— —	— —	浸水防護設備検査	B*: 取替にあわせて実施 プラント運転中又は施設設定 検停止中 ポンプ・電動機一体型ポン プ
	B湧水サンポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 取替	低	B* 5Y	— —	— —	浸水防護設備検査	B*: 取替にあわせて実施 プラント運転中又は施設設定 検停止中 ポンプ・電動機一体型ポン プ
								15回施設設定検から設定

(45/45)

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術)
その他発電用原子炉の附属施設 [浸水防護施設]	その他発電用原子炉の附属施設 [浸水防護施設] その他の弁	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高・低	B 130M	—	—	浸水防護設備検査	浸水防護設備検査は、16回 施設定検から設定
	その他発電用原子炉の附属施設 [浸水防護施設] その他機器	1. 外観点検他	高・低	1F~10F	○	—		15回施設定検時に設置
土木建築設備	原子炉建屋 (格納容器内壁)	1. 外観点検	高	1F	○	15回		
	原子炉建屋 (格納容器外)	1. 外観点検	高・低	1Y	○	15回		プラント運転中又は施設定 検停止中
	取水口設備	1. 外観点検	高	1F	○	15回		プラント運転中又は施設定 検停止中
プラント総合 全般機器	原子炉及びその附属設備 (補助ボイラー及び非常用予備発電装置を除く) 諸機器	1. 総合性能試験	高	1F	○	15回	総合負荷性能検査	施設定検起動後
		1. 分解点検他	低	6M~72M	○	15回		プラント運転中又は施設定 検停止中

クラス1機器供用期間中検査10年計画

1. 原子炉容器(1/2)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)										備考
								2018年 第一回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第一回	2022年 第18回	2023年 第19回	2024年 第一回	2025年 第20回	2026年 第21回	2027年 第22回	
B2. 111	B-B	上部胴と下部胴との周溶接継手	体積	全長の5%	1箇所	水中UT (内面)	100%	-	-	-	100%	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
B2. 111	B-B	下部胴とトランジションリングとの周溶接継手	体積	全長の5%	1箇所	水中UT (内面)	100%	-	-	-	100%	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
B3. 105	B-C	トランジションリングと下部鏡板との周溶接継手	体積	全長の5%	1箇所	水中UT (内面)	100%	-	-	-	100%	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
B3. 10	B-D	上部胴と上部胴フランジとの溶接継手	体積	全長の100%	1箇所	水中UT (内面)	100%	-	-	-	100%	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
B3. 10	B-D	冷却材入口管台と胴との溶接継手	体積	全数の100%	4箇所	水中UT (内面)	各100%	-	-	-	A, B C, D	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
B3. 10	B-D	冷却材出口管台と胴との溶接継手	体積	全数の100%	4箇所	水中UT (内面)	各100%	-	-	-	A, B C, D	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
B3. 20	B-D	冷却材入口管台内面の丸みの部分	体積	全数の100%	4箇所	水中UT (内面)	各100%	-	-	-	A, B C, D	-	-	-	-	-	-	出口管台内面は形状的に検査不可能 (重大事故等クラス2機器)
B5. 10	B-F	冷却材入口管台とセーフエンドとの溶接継手	体積及び表面	全数の100%	4箇所	UT及びPT	各100%	-	-	-	A, B (PT) A, B C, D (水中UT)	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
B5. 10	B-F	冷却材出口管台とセーフエンドとの溶接継手	体積及び表面	全数の100%	4箇所	UT及びPT	各100%	-	-	-	B, C (PT) A, B C, D (水中UT)	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
B6. 10	B-G-1	ナット	VT-1	全数の100%	54個	VT-1	100%	-	7	-	7	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
B6. 30	B-G-1	スタッドボルト	体積	全数の100%	54本	UT	100%	-	7	-	7	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
B6. 40	B-G-1	胴フランジネジ穴のネジ部	体積	全数の100%	54箇所	UT	可能範囲 100%	-	18	-	18	-	-	-	-	-	-	ガイドスタッド近傍は検査不可能 (重大事故等クラス2機器)
B6. 50	B-G-1	上蓋用ワッシャ	VT-1	全数の100%	54個	VT-1	100%	-	7	-	7	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
B7. 10	B-G-2	T/Cハバウジングのマーモンクランプ用ボルト・ナット	VT-1	全数の25%	3箇所/ 1組×4組	VT-1	25% (1組)	-	1組 #66	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
G1. 10	G-P-1	原子炉容器内部	VT-3	全範囲の7.5% 各検査時期毎	1基	VT-3 (水中TV)	可能範囲 100% 約3年毎	-	可能範囲 100%	-	-	-	-	-	-	-	-	可能範囲 100% (重大事故等クラス2機器)
G1. 40	G-P-1	内部取付け物	VT-3	全範囲の7.5%	6箇所	VT-3 (水中TV)	可能範囲 100%	-	-	-	可能範囲 100%	-	-	-	-	-	-	下部炉心構造物取出し時に実施 (重大事故等クラス2機器)

別紙-1(1/11)

クラス1機器供用期間中検査10年計画

1. 原子炉容器 (2/2)

別紙-1(2/11)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008	大飯発電所 第4号機 検査計画(10年間)										備考					
			検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2018年 第一回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第一回		2022年 第18回	2023年 第19回	2024年 第一回	2025年 第20回	2026年 第21回
G1.40 G1.50	G-P-1 G-P-2	上部炉心支持構造物	VT-3	全範囲の 7.5%	1基	VT-3 (水中 V)	可能範囲 100%	-	可能範囲 100%	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
			VT-3	全範囲の 7.5%	1基	VT-3 (水中 V)	可能範囲 100%	-	可能範囲 100%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
B14.10B-O		制御棒駆動ハウジングの溶 接継手(上部)	体積又は 表面	最外周 25%	最外周 20箇所 (全62箇所)	PT	最外周 可能範囲 25% (11箇所)	-	1	2	-	2	2	-	1	1	1	第11回 原子炉容器上蓋取替 に伴い上部を対象箇所として 追加 1.構造上UTは不可 2.上部は構造的に実施困難 (重大事故等クラス2機器)
B15.10B-P		圧力保持範囲	VT-2	漏えい 検査時 100%	1式	VT-2	100%	-	○	○	-	○	-	○	○	○	○	(重大事故等クラス2機器)
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3	全数の 25%	8箇所	VT-3	25% (2箇所)	-	B 出口側	D 出口側	-	-	-	-	-	-	-	但し、目視可能な範囲のみと する。 (重大事故等クラス2機器)

クラス1機器供用期間中検査10年計画

2. 加圧器(1/2)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 検査の対象箇所		検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)										備考
		上部鏡板と上部胴との周継手	下部胴と下部鏡板との周継手						2018年 第一回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第一回	2022年 第18回	2023年 第19回	2024年 第一回	2025年 第20回	2026年 第21回	2027年 第22回	
B2. 11	B-B	上部鏡板と上部胴との周継手		体積	全長の5%	1箇所	UT	5%	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)		
		下部胴と下部鏡板との周継手		体積	全長の5%	1箇所	UT	5%	-	-	-	5%	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
B2. 12	B-B	上部胴の長手継手		体積	全長の10%	2箇所	UT	各10%	-	B5%	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)		
		中間胴の長手継手		体積	全長の10%	2箇所	UT	各10%	-	A10%	-	-	-	-	B10%	-	(重大事故等クラス2機器)		
		下部胴の長手継手		体積	全長の10%	2箇所	UT	各10%	-	-	-	-	-	-	-	B10%	-	(重大事故等クラス2機器)	
		上部胴と中間胴との周継手		体積	全長の5%	1箇所	UT	5%	-	-	-	5%	-	A10%	-	-	B10%	(重大事故等クラス2機器)	
B2. 13	B-B	中間胴と下部胴との周継手		体積	全長の5%	1箇所	UT	5%	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)		
		安全弁用管台と容器との溶接継手		体積	全長の5%	1箇所	UT	5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
B3. 30	B-D	安全弁用管台と容器との溶接継手		体積	全長の25%	3箇所	UT	全数の33% (2箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
		逃がし弁用管台と容器との溶接継手		体積	全数の25%	1箇所	UT	33%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
		スプレイ用管台と容器との溶接継手		体積	全数の25%	1箇所	UT	33%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
		サージ用管台と容器との溶接継手		体積	全数の25%	1箇所	UT	33%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
B3. 40	B-D	安全弁用管台内面の丸みの部分		体積	全数の25%	3箇所	UT	全数の33% (2箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
		逃がし弁用管台内面の丸みの部分		体積	全数の25%	1箇所	UT	33%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
		スプレイ用管台内面の丸みの部分		体積	全数の25%	1箇所	UT	33%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
		サージ用管台内面の丸みの部分		体積	全数の25%	1箇所	UT	33%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	

クラス1機器供用期間中検査10年計画

2. 加圧器 (2/2)

別紙-1(4/11)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)										備考				
								2018年 第一回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第一回	2022年 第18回	2023年 第19回	2024年 第一回	2025年 第20回	2026年 第21回	2027年 第22回					
B5. 40	B-F	安全弁用管台とセーフエンドとの溶接継手 逃がし弁用管台とセーフエンドとの溶接継手 スプレイ用管台とセーフエンドとの溶接継手 サージ用管台とセーフエンドとの溶接継手	体積及び 表面	全数の 25%	3箇所	UT及び PT	33% (2箇所)	-	-	-	-	サージ 用管台 (UT+PT)	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)			
					1箇所			-	-	-	-	安全弁 用管台 A (UT+PT)	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)			
					1箇所			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
					1箇所			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
B7. 20	B-G-2	マンホール取付ボルト	VT-1	全数の 25%	16本/ 1箇所× 1基	VT-1	25% (4本)	-	1	-	1	-	-	1	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)				
B8. 20	B-H	支持部材の容器への取付け溶接継手 (スカート溶接継手)	表面又は 体積	全長の 7.5%	1箇所	UT	7.5%	-	-	-	7.5%	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)				
B15. 20	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい 検査時 100%	1式	VT-2	100%	-	○	-	○	-	-	○	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)			
F1. 41	F-A	支持構造物(スカート、基礎ボルト含む)	VT-3	全数の 25%	1箇所/ 1基	VT-3	100%	-	-	-	-	-	-	-	100%	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)			

クラス1機器供用期間中検査10年計画

3. 蒸気発生器(1/1)

別紙-1(5/11)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)										備考
								2018年 第一回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第一回	2022年 第18回	2023年 第19回	2024年 第一回	2025年 第20回	2026年 第21回	2027年 第22回	
B2. 40	B-B	管板と水室鏡板との溶接継手	体積	代表1基 全長の 25%	1箇所/ 1基×4 基	UT	代表1基 の25%	-	A 9%	-	A 8%	-	-	A 8%	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
B3. 60	B-D	冷却材入口管台の内面の丸みの部分	体積	代表1基 全長の 25%	1箇所/ 1基×4 基	UT	代表1基 の50% (1箇所/ 1基)	-	-	-	B 入口側	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
		冷却材出口管台の内面の丸みの部分						-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
B5. 70	B-F	冷却材入口管台とセーフエンドとの溶接継手	体積及び 表面	代表1基 全長の 25%	1箇所/ 1基×4 基	UT及び PT	代表1基の 50% (1箇所/ 1基)	-	B (UT)	-	-	-	-	-	-	-	*1 (重大事故等クラス2機器)	
		冷却材出口管台とセーフエンドとの溶接継手						-	B (UT)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
B7. 30	B-G-2	1次側マンホールボルト(入口側)	VT-1	代表1基 全長の 25%	16本/ 1基×4 基	VT-1	代表1基 の50% (16本/ 1基)	-	A 入口側 4本	-	A 入口側 6本	-	-	A 入口側 6本	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
		1次側マンホールボルト(出口側)						-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
B8. 30	B-H	水室鏡とサポートハンドとの溶接継手	表面	代表1基 全長の 7.5%	4箇所/ 1基×4 基	PT	代表1基 の25% (1箇所/ 1基)	-	A1	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
B15. 30	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい 検査時 100%	1式	VT-2	100%	-	O	-	O	-	-	O	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
F1. 41	F-A	支持構造物	VT-3	代表1基 の25%	4箇所/ 1基×4 基	VT-3	代表1基の 100% (4箇所)	-	-	-	A4	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	

*1:検査方法のうちUTについては、NISA文書「定期事業者検査における超音波探傷試験の代替措置計画策定について」の検査対象

4. 配管(1/4)

クラス1機器供用期間中検査10年計画

別紙-1(6/11)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)										備考					
								2015年 第一回	2015年 第16回	2019年 第一回	2020年 第17回	2021年 第一回	2022年 第18回	2023年 第19回	2024年 第一回	2025年 第20回	2026年 第21回		2027年 第22回				
B7.50	B-G-2	直径50mm 以下の圧 力保持用 ホルト締 め付け部	VT-1	全数の 25%	4組/ 1箇所 x4箇所	VT-1	25% (1箇所)	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-				
B9.11	B-J	配管の同 種金属溶 接継手 (呼び径 100A以 上:周継 手)	体積	全数の 25%	48箇所	UT	25% (12箇所)	-	2 A	3 B, C	-	2 A, C	1 B	-	2 C, D	1 D	1	1 D	(重 大事故等 クラス2機 器)				
			体積	全数の 25%	8箇所	UT	25% (2箇所)	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	1	(重 大事故等 クラス2機 器)		
			体積	全数の 25%	27箇所	UT	25% (7箇所)	-	1	1	-	1	1	-	-	-	-	3	3	-	(重 大事故等 クラス2機 器)		
			体積	全数の 25%	6箇所	UT	33% (2箇所)	-	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	(重 大事故等 クラス2機 器)	
			体積	全数の 25%	43箇所	UT	25% (11箇所)	-	-	1	3	-	2	1	-	2	1	1	1	1	-	(重 大事故等 クラス2機 器)	
			体積	全数の 25%	32箇所	UT	25% (8箇所)	-	-	1	2	-	1	1	-	1	1	1	1	1	-	(重 大事故等 クラス2機 器)	
			体積	全数の 25%	56箇所	UT	25% (14箇所)	-	-	2	3	-	3	1	-	2	2	1	1	1	-	(重 大事故等 クラス2機 器)	
			体積	全数の 25%	22箇所	UT	27% (6箇所)	-	-	1	1	-	1	2	-	1	1	1	1	1	-	(重 大事故等 クラス2機 器)	
			体積	全数の 25%	12箇所	UT	25% (3箇所)	-	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	(重 大事故等 クラス2機 器)
			表面	全数の 25%	12箇所	表面	25% (3箇所)	-	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	(重 大事故等 クラス2機 器)
表面	全数の 25%	14箇所	表面	28% (4箇所)	-	-	1	1	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-			
表面	全数の 25%	32箇所	表面	25% (8箇所)	-	-	1	2	-	1	1	-	1	1	1	1	1	1	1	1			
表面	全数の 25%	10箇所	表面	30% (3箇所)	-	-	1	1	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	(重 大事故等 クラス2機 器)		
表面	全数の 25%	1箇所	表面	100% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-		
表面	全数の 25%	2箇所	表面	50% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	(重 大事故等 クラス2機 器)	
表面	全数の 25%	11箇所	表面	27% (3箇所)	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-		
表面	全数の 25%	29箇所	表面	27% (8箇所)	-	-	-	1	1	-	1	-	-	1	2	1	1	1	1	1	1	-	
表面	全数の 25%	6箇所	表面	33% (2箇所)	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	(重 大事故等 クラス2機 器)	

クラス1機器供用期間中検査10年計画

4. 配管(2/4)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 検査の対象箇所										大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)										備考
		検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2018年 第一回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第一回	2022年 第18回	2023年 第19回	2024年 第一回	2025年 第20回	2026年 第21回	2027年 第22回						
B9. 31	B-J	母管と管台との溶接継手(呼び径100A以上)	体積	全数の25%	9箇所	UT	33% (3箇所)	1	-	-	1	-	-	1	-	-	(重大事故等クラス2機器)					
			表面	全数の25%	32箇所	PT	25% (8箇所)	1	-	3	-	1	-	1	-	1	-	(重大事故等クラス2機器)				
			表面	全数の25%	2箇所	PT	50% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	(重大事故等クラス2機器)			
B9. 32	B-J	母管と管台との溶接継手(呼び径100A未満)	表面	全数の25%	2箇所	PT	50% (1箇所)	-	1	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)					
			表面	全数の25%	2箇所	PT	50% (1箇所)	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-			
			表面	全数の25%	2箇所	PT	50% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	(重大事故等クラス2機器)			
B9. 40	B-J	ソケット溶接継手	表面	全数の25%	24箇所	PT	25% (6箇所)	1	2	-	1	-	-	-	-	1	-					
			表面	全数の25%	6箇所	PT	33% (2箇所)	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-			
			表面	全数の25%	6箇所	PT	33% (2箇所)	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-			
B10. 20	B-K	耐圧部分への支持部材取付け溶接継手	表面	全数の25%	62箇所	PT	25% (16箇所)	2	4	-	3	2	-	1	2	2	-					
			表面	全数の25%	30箇所	PT	26% (8箇所)	-	2	2	-	1	-	-	1	-	-	-				
			表面	全数の25%	16箇所	PT	25% (4箇所)	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	(重大事故等クラス2機器)			
B15. 50	B-P	圧力保持範囲	表面	全数の25%	2箇所	PT	50% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)					
			VT-2	漏えい検査時100%	1式	VT-2	100%	-	0	0	-	0	0	-	0	0	0	-	(重大事故等クラス2機器)			

別紙-1(7/11)

クラス1機器供用期間中検査10年計画

4. 配管(3/4)

別紙一1(8/11)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 検査の対象箇所										大阪発電所 第4号機 検査計画(10カ年)										備考
		検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2018年 第一回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第一回	2022年 第18回	2023年 第19回	2024年 第一回	2025年 第20回	2026年 第21回	2027年 第22回						
F1.10 F-A	支持 構造 造物	加圧サージライン	VT-3	全数の 25%	7箇所	VT-3	28% (2箇所)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	(重大事故等クラス2機器)					
		加圧器逃がし弁ライン	VT-3	全数の 25%	10箇所	VT-3	30% (3箇所)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	(重大事故等クラス2機器)				
		加圧器スプレイレイン	VT-3	全数の 25%	61箇所	VT-3	26% (16箇所)	2	3	2	2	3	2	2	2	4	4					
		加圧器補助スプレイレイン	VT-3	全数の 25%	30箇所	VT-3	26% (8箇所)	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1				
		抽出及びドレンライン	VT-3	全数の 25%	23箇所	VT-3	26% (6箇所)	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1				
		CVCS充てんライン	VT-3	全数の 25%	5箇所	VT-3	40% (2箇所)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	(重大事故等クラス2機器)			
		1次冷却材ポンプ封水 注入ライン	VT-3	全数の 25%	27箇所	VT-3	25% (7箇所)	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1				
		余熱除去ポンプ入ロライン	VT-3	全数の 25%	24箇所	VT-3	25% (6箇所)	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	(重大事故等クラス2機器)			
		SIS蓄圧注入ライン	VT-3	全数の 25%	30箇所	VT-3	26% (8箇所)	1	1	1	1	2	1	1	1	1	2	2	(重大事故等クラス2機器)			
		SIS高温側低圧注入ライン	VT-3	全数の 25%	12箇所	VT-3	25% (3箇所)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1				
		SIS低温側低圧注入ライン	VT-3	全数の 25%	10箇所	VT-3	30% (3箇所)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	(重大事故等クラス2機器)			
		SIS高温側高圧補助 注入ライン	VT-3	全数の 25%	46箇所	VT-3	26% (12箇所)	1	1	5	1	1	1	1	2	2	2	2				
		SIS低温側高圧補助 注入ライン	VT-3	全数の 25%	12箇所	VT-3	25% (3箇所)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	(重大事故等クラス2機器)			

5. 1次冷却材ポンプ(1/1)

クラス1機器供用期間中検査10年計画

別紙-1(9/11)

項目番号	カテゴリ	維持規格	JSMC S NA1-2008 検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	大阪発電所 第4号機 検査計画(10カ年)										備考
									2018年 第一回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第一回	2022年 第18回	2023年 第19回	2024年 第一回	2025年 第20回	2026年 第21回	2027年 第22回	
B6. 180			主フランジボルト	体積	代表1台の 25%	24本/ 1台×4台	UT	代表1台の 25% (6本/1台)	-	B 6	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
B6. 190	B-G-1		主フランジ表面	VT-1	代表1台の 25%	24箇所/ 1台×4台	VT-1	代表1台の 25% (6箇所/1台)	-	B 6	-	-	-	-	-	-	-	ポンプ分解点検時に実施 (重大事故等クラス2機器)	
B6. 200			主フランジナット・ワッシャ	VT-1	代表1台の 25%	24組/ 1台×4台	VT-1	代表1台の 25% (6組/1台)	-	B 6	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
B12. 20	B-L-2		ケーシングの内表面	VT-3	代表1台の 100%	4台	VT-3	代表1台の 100% (1台)	-	B 可能範囲	-	-	-	-	-	-	-	ポンプ分解点検時に実施 (重大事故等クラス2機器)	
B15. 60	B-P		圧力保持範囲	VT-2	漏えい 検査時 100%	1式	VT-2	100%	-	O	O	O	O	O	O	O	O	(重大事故等クラス2機器)	
F1. 41	F-A		支持構造物	VT-3	代表1台の 25%	3箇所/ 1台×4台	VT-3	代表1台の 100% (3箇所/1台)	-	A3	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	

クラス1機器供用期間中検査10年計画

6. 弁(1/2)

別紙-1(10/11)

項目番号	カテゴリ	維持規格	JSM E S NA1-2008	大阪発電所 第4号機 検査計画(10カ年)										備考							
				検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2018年 第一回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第一回		2022年 第18回	2023年 第19回	2024年 第一回	2025年 第20回	2026年 第21回	2027年 第22回	
B7. 70 B-G-2		直径50mm 以下の圧 力保持ボ ルム線付 部	加圧器安全弁ライン	VT-1	代表1台 の25%	3台	VT-1	代表1台 の100% (1台)	-	4V-RC- 055	-	-	-	-	-	-	-	4V-RC-055 4V-RC-056 4V-RC-057 (重大事故等クラス2機器)			
				VT-1	代表1台 の25%	2台	VT-1	代表1台 の100% (1台)	-	4V-RC- 054B	-	-	-	-	-	-	-	-	4V-RC-054A-B (重大事故等クラス2機器)		
				VT-1	代表1台 の25%	2台	VT-1	代表1台 の100% (1台)	-		4PCV- 452B	-	-	-	-	-	-	-	-	4PCV-452A-B (重大事故等クラス2機器)	
				VT-1	代表1台 の25%	2台	VT-1	代表1台 の100% (1台)	-			4PCV- 451A	-	-	-	-	-	-	-	-	4PCV-451A-B
				VT-1	代表1台 の25%	1台	VT-1	代表1台 の100% (1台)	-			4V-CS- 169	-	-	-	-	-	-	-	-	4V-CS-169
				VT-1	代表1台 の25%	1台	VT-1	代表1台 の100% (1台)	-			4V-RC- 017	-	-	-	-	-	-	-	-	4V-RC-017
				VT-1	代表1台 の25%	2台	VT-1	代表1台 の100% (1台)	-				-	-	4LCV- 451	-	-	-	-	-	4LCV-451 4LCV-452
				VT-1	代表1台 の25%	2台	VT-1	代表1台 の100% (1台)	-				-	-		4V-CS- 164	-	-	-	-	4V-CS-164, 4V-CS-166 (重大事故等クラス2機器)
				VT-1	代表1台 の25%	2台	VT-1	代表1台 の100% (1台)	-				-	-		4PCV- 420	-	-	-	-	4PCV-420, 4PCV-430 4V-RH-002A・B (重大事故等クラス2機器)
				VT-1	代表1台 の25%	8台	VT-1	代表1台 の100% (1台)	-				-	-				4V-SI- 134C	-	-	4V-SI-134A・B・C・D 4V-SI-136A・B・C・D (重大事故等クラス2機器)
B12. 50 B-M-2		呼び径 100Aを超 える弁箱	SIS高温側低圧注入ライン	VT-1	代表1台 の25%	4台	VT-1	代表1台 の100% (1台)	-		-	-	-	-	-	-	-	4V-RH- 051B 4V-SI-082B・C			
				VT-1	代表1台 の25%	4台	VT-1	代表1台 の100% (1台)	-			-	-	-	-	-	-	-	4V-RH-050A・B・C・D (重大事故等クラス2機器)		
				VT-3	代表1台 の100%	3台	VT-3	代表1台 の100% (1台)	-		4V-RC- 055	-	-	-	-	-	-	-	-	4V-RC-055, 4V-RC-056 (重大事故等クラス2機器)	
				VT-3	代表1台 の100%	2台	VT-3	代表1台 の100% (1台)	-				-	4PCV- 420	-	-	-	-	-	4PCV-420, 4PCV-430 4V-RH-002A・B (重大事故等クラス2機器)	
				VT-3	代表1台 の100%	8台	VT-3	代表1台 の100% (1台)	-				-							4V-SI-134A・B・C・D 4V-SI-136A・B・C・D (重大事故等クラス2機器)	
				VT-3	代表1台 の100%	4台	VT-3	代表1台 の100% (1台)	-				-			4V-RH- 051A	-	-	-	4V-RH-051A・B 4V-SI-082B・C	
				VT-3	代表1台 の100%	4台	VT-3	代表1台 の100% (1台)	-				-							4V-RH-050A・B・C・D (重大事故等クラス2機器)	
				VT-3	代表1台 の100%	4台	VT-3	代表1台 の100% (1台)	-				-								4V-RH-050A・B・C・D (重大事故等クラス2機器)
				VT-2	漏えい 検査時 100%	1式	VT-2	100%	-				-								(重大事故等クラス2機器)
				B15. 70 B-P		圧力保持範囲		VT-2	漏えい 検査時 100%	1式	VT-2	100%	-								
VT-2	漏えい 検査時 100%	1式	VT-2					100%	-											(重大事故等クラス2機器)	

クラス1機器供用期間中検査10年計画

6. 弁(2/2)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008		大阪発電所 第4号機 検査計画(10カ年)										備考				
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2018年 第一回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第一回	2022年 第18回	2023年 第19回		2024年 第一回	2025年 第20回	2026年 第21回	2027年 第22回
F1.41	F-A	加圧器安全弁ライン	VT-3	代表1台 の25%	1箇所/ 1台 x3台	VT-3	代表1台 の100% (1箇所)	-	4V-RC- 055 1	-	-	-	-	-	-	-	4V-RC-055, 4V-RC-056 4V-RC-057, (重大事故等クラス2機器)	
			VT-3	代表1台 の25%	2箇所/ 1台 x2台	VT-3	代表1台 の100% (2箇所)	-	4V-RC- 054B 2	-	-	-	-	-	-	-	4V-RC-054A, B (重大事故等クラス2機器)	
			VT-3	代表1台 の25%	2箇所/ 1台 x2台	VT-3	代表1台 の100% (2箇所)	-		4PCV- 452A 2	-	-	-	-	-	-	-	4PCV-452A, B (重大事故等クラス2機器)
		加圧器スプレイレイン	VT-3	代表1台 の25%	1箇所/ 1台 x1台	VT-3	代表1台 の100% (1箇所)	-			4PCV- 451B 2	-	-	-	-	-	-	4PCV-451A, B
		加圧器補助スプレイレイン	VT-3	代表1台 の25%	1箇所/ 1台 x1台	VT-3	代表1台 の100% (1箇所)	-						4V-CS- 169 1	-	-	-	4V-CS-169
		抽出及びびドレンライン	VT-3	代表1台 の25%	2箇所/ 1台 x2台	VT-3	代表1台 の100% (2箇所)	-							4LCV- 452 2	-	4LCV-451 4LCV-452	
		糸線除去ポンプ入ロライン	VT-3	代表1台 の25%	1箇所/ 1台 x4台	VT-3	代表1台 の100% (1箇所)	-									4PCV-420, 4PCV-430 4V-RH-002A, B (重大事故等クラス2機器)	

別紙-1(11/11)

クラス2機器供用期間中検査10年計画

1. 余熱除去冷却器

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S N A1-2008 検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	大崎発電所 第4号機 検査計画(10年間)										備考	
								2013年	2014年	2015年 第15回	2016年	2017年	2018年 第一回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第一回	2022年 第18回		
C1.10	C-A	管側胴と管側フランジとの溶接継手	体積	代表1基 全長の 7.5%	1箇所/1 基×2基	UT	代表1基の 7.5%	A 7.5%											(重大事故等クラス2機器)
C1.20	C-A	管側臍板と管側胴との溶接継手	体積	代表1基 全長の 7.5%	1箇所/1 基×2基	UT	代表1基の 7.5%												(重大事故等クラス2機器)
C2.21	C-B	管側入口管台と管側胴との溶接継手	体積及び 表面	代表1基 全長の 7.5%	1箇所/1 基×2基	UT及び PT	代表1基の 50% (1箇所/1基)												(重大事故等クラス2機器)
		管側出口管台と管側胴との溶接継手						A 入口側											
C4.10	C-D	全ねじボルト	体積	代表1基 全長の 7.5%	48本/1基 ×2基	UT	代表1基の 100% (48本/1基)								A 16本	A 16本			(重大事故等クラス2機器)

別紙-2(1/10)

クラス2機器供用期間中検査10年計画

2. 配管(1/3)

別紙-2(2/10)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 検査の対象箇所	大阪発電所 第4号機 検査計画(10カ年)										備考							
			2013年 第15回	2014年	2015年 第15回	2016年	2017年	2018年 第一回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第一回	2022年 第18回								
C3. 20	C-C	配管支持部 材取付け溶 接継手	高圧注入ポンプ出口ライン	1													(重大事故等クラス2機器)			
			高圧注入ポンプ出口連絡 ライン										1					(重大事故等クラス2機器)		
			余熱除去ポンプ入ロライン											1				(重大事故等クラス2機器)		
			余熱除去冷却器出ロライン												1			(重大事故等クラス2機器)		
			SIS高温側低圧注入ライン												1					
			SIS低温側低圧注入ライン														1		(重大事故等クラス2機器)	
			格納容器再循環サンプル出口 ライン															1	(重大事故等クラス2機器)	
			充てんポンプ出口ライン																	(重大事故等クラス2機器)
			余熱除去ポンプ入ロライン														1			(重大事故等クラス2機器)
			余熱除去ポンプ出口ライン															1		
C5. 11	C-F	呼び径100A を超える管 で公称厚さ が9.5mmを 超える溶接 継手	余熱除去ポンプ冷却器出ロライン															(重大事故等クラス2機器)		
			SIS高温側低圧注入ライン														1		(重大事故等クラス2機器)	
			SIS低温側低圧注入ライン															1		(重大事故等クラス2機器)
			高圧注入ポンプ出口ライン															1		(重大事故等クラス2機器)

クラス2機器供用期間中検査10年計画

2. 配管(2/3)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)					備考		
								2013年	2014年	2015年	2016年	2017年		2018年 第一回	2019年 第16回
C5. 11	C-F	格納容器再循環サンプ出口ライン 呼び径100Aを超え、公称厚さが9.5mmを超える溶接継手	体積又は表面	全数の7.5%	2箇所	-	-	-	-	-	-	-	-	全箇所、格納容器貫通部のため検査不可 (重大事故等クラス2機器)	
			体積又は表面	全数の7.5%	6箇所	PT	16% (1箇所)	-	-	-	-	-	-		-
C5. 12	C-F	燃料取替用水ピット出口ライン 余熱除去ポンプ入口ライン	体積又は表面	全数の7.5%	6箇所	PT	16% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
			体積又は表面	全数の7.5%	4箇所	PT	25% (1箇所)	-	-	-	-	-	-		-
C5. 21	C-F	高圧注入ポンプ出口ライン 封水注入ライン 呼び径50A以上100A以下の管で公称厚さが5mmを超える溶接継手	表面	全数の7.5%	44箇所	PT	9% (4箇所)	1	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
			表面	全数の7.5%	12箇所	PT	8% (1箇所)	-	1	-	-	-	-		
			表面	全数の7.5%	17箇所	PT	11% (2箇所)	-	-	-	-	-	-		-
			表面	全数の7.5%	40箇所	PT	10% (4箇所)	-	-	-	-	-	-		-
C5. 30	C-F	SIS低温側高圧補助注入ライン SIS高温側高圧補助注入ライン ソケット溶接継手	表面	全数の7.5%	27箇所	PT	11% (3箇所)	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
			表面	全数の7.5%	19箇所	PT	10% (2箇所)	-	1	-	-	-	-		-
C5. 41	C-F	SIS低温側高圧補助注入ライン SIS高温側高圧補助注入ライン 呼び径50Aを超える母管と管台及び母管と枝管との溶接継手	表面	全数の7.5%	20箇所	PT	10% (2箇所)	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
			表面	全数の7.5%	20箇所	PT	10% (2箇所)	1	-	-	-	-	-		-
		高圧注入ポンプ出口ライン	表面	全数の7.5%	2箇所	PT	50% (1箇所)	-	-	-	-	1	-	(重大事故等クラス2機器)	

クラス2機器供用期間中検査10年計画

2. 配管(3/3)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 検査の対象箇所	大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)										備考								
			2013年	2014年	2015年 第15回	2016年	2017年	2018年 第一回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第一回	2022年 第18回									
F1. 21	F-A	支持構造物	充てんポンプ出口ライン	1													(重大事故等クラス2機器)				
			余熱除去ポンプ入口ライン			2							1					(重大事故等クラス2機器)			
			余熱除去ポンプ出口ライン											1					(重大事故等クラス2機器)		
			余熱除去冷却器出入口ライン											1	1				(重大事故等クラス2機器)		
			余熱除去冷却器出口ライン					1						1	1				(重大事故等クラス2機器)		
			余熱除去冷却器バイパスライン																		
			SIS高温側低圧注入ライン																		
			SIS低温側低圧注入ライン																		
			高圧注入ポンプ出口ライン														1	1		(重大事故等クラス2機器)	
			封水注入ライン																		
			高圧注入ポンプ出口連絡ライン																		
			SIS高温側高圧補助注入ライン																		
			SIS低温側高圧補助注入ライン																2		(重大事故等クラス2機器)
			格納容器再循環サンプル出口ライン																1		(重大事故等クラス2機器)
燃料取替用水ピット出口ライン																1		(重大事故等クラス2機器)			

別紙-2(4/10)

クラス2機器供用期間中検査10年計画

3. 充てんポンプ

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008		大阪発電所 第4号機 検査計画(10カ年)										備考				
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年		2019年	2020年	2021年	2022年
C3. 30	C-C	ポンプ支持部材取付け溶接継手	表面	全数の7.5%	16箇所/1台×2台	PT	全数の9% (3箇所)			A 1箇所			A 1箇所	A 1箇所				(重大事故等クラス2機器)
C4. 30	C-D	ケーシングボルト	体積	代表1台の7.5%	16本/1台×2台	UT	代表1台の12% (2本/1台)						A 1本	A 1本				(重大事故等クラス2機器)
C6. 10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の7.5%	1箇所/1台×2台	PT	代表1台の100% (1箇所/1台)										A 100%	(重大事故等クラス2機器)
F1. 43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	2箇所/1台×2台	VT-3	代表1台の100% (2箇所/1台)							A 100%				(重大事故等クラス2機器)

別紙-2(5/10)

4. 充てんポンプ(往復動式)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008		大阪発電所 第4号機 検査計画(10カ年)										備考				
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年		2019年	2020年	2021年	2022年
F1. 43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	全数の7.5%	1箇所/1台	VT-3	100% (1箇所/1台)							100%				(重大事故等クラス2機器)

5. 余熱除去ポンプ

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008		大阪発電所 第4号機 検査計画(10カ年)										備考				
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年		2019年	2020年	2021年	2022年
C6. 10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の7.5%	2箇所/1台×2台	PT	代表1台の50% (1箇所/1台)			A 1箇所								(重大事故等クラス2機器)
F1. 43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	2箇所/1台×2台	VT-3	代表1台の100% (2箇所/1台)							A 100%				(重大事故等クラス2機器)

クラス2機器供用期間中検査10年計画

6. クラス2弁

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 検査の対象箇所	大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)										備考						
			検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2013年	2014年	2015年 第15回	2016年	2017年		2018年 第一回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第一回	2022年 第18回	
F1.43 F-A		支持構造物 余熱除去冷却器 出入口ライン 余熱除去冷却器 出入口ライン 余熱除去冷却器 バイパスライン 封水注入ライン 格納容器再循環 サンプ出入口ライン	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/1 台×2台	VT-3	代表1台の 100%(2箇 所/1台)					2018年 第一回	4HCV- 603 2				4HCV-603、4HCV-613 (重大事故等クラス2機器)		
			VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/1 台×2台	VT-3	代表1台の 100%(2箇 所/1台)											4V-RH- 043B 2	4V-RH-043A-B (重大事故等クラス2機器)
			VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/1 台×2台	VT-3	代表1台の 100%(2箇 所/1台)							4FCV- 614 2					4FCV-604、4FCV-614
			VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/1 台×2台	VT-3	代表1台の 100%(1箇 所/1台)								4V-SI- 026A 1				4V-SI-026A-B
			VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/1 台×2台	VT-3	代表1台の 100%(2箇 所/1台)												4V-SI- 093A 2

別紙-2(6/10)

クラス2機器供用期間中検査10年計画

7. クラス2機器漏えい検査(1/4)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSM E S NA1-2008 検査の対象箇所 ライン名	運転圧力又は 最高使用 圧力(MPa)	検査圧力 (MPa)	検査方法	大阪発雷所 第4号機 検査計画(10カ年)					備考															
						2013年 第15回	2014年 第15回	2015年 第15回	2016年 第15回	2017年 第15回		2018年 第16回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第17回	2022年 第18回										
C7.30 C7.70	C-H	1次冷却材系統	0.98	0.98	VT-2			●																		
		加圧器逃がしタンクPMW供給ライン																								
		抽出ライン(1)	15.41	15.41	VT-2																					
		抽出ライン(2)	2.06	2.06	VT-2																					
		抽出ライン(3)	0.34	0.34	VT-2																					
		体積制御タンク入ロライン	0.27	0.27	VT-2	※1		●																		
		体積制御タンク及び出入ロライン	0.11	0.11	VT-2																					
		A充てんポンプ出ロライン及び封水注入ライン	18.0	18.0	VT-2																					
		B充てんポンプ出ロライン	18.0	18.0	VT-2	※1		●																		
		C充てんポンプ出ロライン	17.36	17.36	VT-2																					
		ほう酸混合器及び出入ロライン	0.11	0.11	VT-2																					
		ほう酸ポンプ及び充てんポンプ連絡ライン	0.11	0.11	VT-2																					
		Aほう酸ポンプ入ロライン	水張り	水張り	VT-2	※1		●																		
		Bほう酸ポンプ入ロライン	水張り	水張り	VT-2	※1		●																		
		Aほう酸ポンプ出ロライン	0.87	0.87	VT-2	※1		●																		
		Bほう酸ポンプ出ロライン	0.87	0.87	VT-2	※1		●																		
		封水戻りライン	0.20	0.20	VT-2																					
		A、B高圧注入ポンプ入ロライン	0.19	0.19	VT-2																					
		A高圧注入ポンプ出ロライン(1)	10.01	10.01	VT-2																					
		A高圧注入ポンプ出ロライン(2)	10.01	10.01	VT-2																					

別紙-2(7/10)

※1:プラント長期停止に伴い、プラント起動時(H29)に検査を実施

クラス2機器供用期間中検査10年計画

7. クラス2機器漏えい検査(2/4)

別紙-2(8/10)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 検査の対象箇所 システム名	運転圧力又は 最高使用 圧力(MPa)	検査圧力 (MPa)	検査方法	大阪発電所 第4号機 検査計画(10カ年)										備考							
						2013年	2014年	2015年 第15回	2016年	2017年	2018年 第一回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第一回	2022年 第18回								
C7. 10 C7. 30 C7. 50 C7. 70	C-H	B高圧注入ポンプ出口ロライン(1)	10. 01	10. 01	VT-2	●																	
		B高圧注入ポンプ出口ロライン(2)	10. 01	10. 01	VT-2	● ※1															RCS漏えい検査時実施		
		格納容器再循環サンプ出口ロライン	水張り	水張り	VT-2																	ガードハイブ内包部分は 検査不可	
		蓄圧タンク及びび出入ロライン	4. 42	4. 42	VT-2												○					一部気圧検査	
		燃料取替用水ピット出入ロライン	水張り	水張り	VT-2												○						
		蓄圧タンク窒素充填ライン	4. 42	4. 42	VT-2												○						
		蓄圧タンク注入ライン	10. 01	10. 01	VT-2												○						
C7. 10 C7. 30 C7. 50 C7. 70	C-H	A余熱除去ポンプ入口ロライン	2. 75	2. 75	VT-2																		
		B余熱除去ポンプ入口ロライン	2. 75	2. 75	VT-2												○						
		A余熱除去ポンプ出口ロライン	3. 78	3. 78	VT-2												○						
		B余熱除去ポンプ出口ロライン	3. 78	3. 78	VT-2												○						
		A格納容器スプレイポンプ入口ロライン	0. 19	0. 19	VT-2								●										
		B格納容器スプレイポンプ入口ロライン	0. 19	0. 19	VT-2								●										
		A格納容器スプレイポンプ出口ロライン(1)	1. 97	1. 97	VT-2								●										
C7. 10 C7. 30 C7. 50 C7. 70	C-H	A格納容器スプレイポンプ出口ロライン(2)	1. 97	1. 97	VT-2																	気圧検査	
		B格納容器スプレイポンプ出口ロライン(1)	1. 97	1. 97	VT-2								●										
		B格納容器スプレイポンプ出口ロライン(2)	1. 97	1. 97	VT-2																		気圧検査
		よう素除去薬品タンク及びび出入ロライン	0. 03	0. 03	VT-2																		一部気圧検査
		Aよう素除去薬品タンク出口ロライン	水張り	水張り	VT-2																		
		Bよう素除去薬品タンク出口ロライン	水張り	水張り	VT-2																		

※1:プラント長期停止に伴い、プラント起動時(H29)に検査を実施

クラス2機器供用期間中検査10年計画

7. クラス2機器漏えい検査(3/4)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008		大崎発電所 第4号機 検査計画(10カ年)										備考			
		系統名	検査の対象箇所 ライン名	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年				
				第15回	第15回	第15回	第16回	第17回	第18回	第18回	第18回	第18回	第18回				
C7. 10 C7. 30 C7. 50 C7. 70	C-H	格納容器スプレィ系 統	PH調整剤タンク及び出入ロライン														一部気圧検査
C7. 10 C7. 30 C7. 70	C-H	主蒸気系統	A蒸気発生器蒸気出口ロライン														RCS漏えい検査時実施
			B蒸気発生器蒸気出口ロライン														RCS漏えい検査時実施
			C蒸気発生器蒸気出口ロライン														RCS漏えい検査時実施
			D蒸気発生器蒸気出口ロライン														RCS漏えい検査時実施
C7. 30 C7. 70	C-H	主給水系統	A蒸気発生器給水入口ロライン														RCS漏えい検査時実施
			B蒸気発生器給水入口ロライン														RCS漏えい検査時実施
			C蒸気発生器給水入口ロライン														RCS漏えい検査時実施
			D蒸気発生器給水入口ロライン														RCS漏えい検査時実施
C7. 30 C7. 70	C-H	蒸気発生器ブロワーダ ウン系統	A蒸気発生器ブロワーダウンロライン														RCS漏えい検査時実施
			B蒸気発生器ブロワーダウンロライン														RCS漏えい検査時実施
			C蒸気発生器ブロワーダウンロライン														RCS漏えい検査時実施
			D蒸気発生器ブロワーダウンロライン														RCS漏えい検査時実施
C7. 30 C7. 70	C-H	制御用空気系統	A蒸気発生器ブロワーダウンサンブルロライン														RCS漏えい検査時実施
			B蒸気発生器ブロワーダウンサンブルロライン														RCS漏えい検査時実施
			C蒸気発生器ブロワーダウンサンブルロライン														RCS漏えい検査時実施
			D蒸気発生器ブロワーダウンサンブルロライン														RCS漏えい検査時実施
C7. 30 C7. 70	C-H	所内用空気系統	A制御用空気ロライン														
			B制御用空気ロライン														
C7. 30 C7. 70	C-H	所内用空気系統	所内用空気ロライン														

別紙-2(9/10)

クラス2機器供用期間中検査10年計画

7. クラス2機器漏えい検査(4/4)

別紙-2(10/10)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSM E S NA1-2008 検査の対象箇所 系統名	運転圧力又は 最高使用 圧力(MPa)	検査圧力 (MPa)	検査方法	大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)										備考
						2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	
						第15回	第1回	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回		
C7.30 C7.70	C-H	加圧器液相部、気相部サンプルライン及び1次冷却材サンプルライン	15.41	15.41	VT-2								○	-		
	C-H	試料採取系統	15.41	15.41	VT-2								○	-		
	C-H	蓄圧タンクサンプルライン	4.42	4.42	VT-2								○	-		
C7.30 C7.70	C-H	燃料代替用水系統	水張り	水張り	VT-2								○	-		
	C-H	原子炉キャビティ浄化ライン(1)	水張り	水張り	VT-2								○	-		
	C-H	原子炉キャビティ浄化ライン(2)	水張り	水張り	VT-2								○	-		
C7.30 C7.70	C-H	格納容器冷却材ドレンポンプ出口ライン	0.6	0.6	VT-2								○	-		
	C-H	廃棄物処理系統	0.2	0.2	VT-2								○	-		
C7.30 C7.70	C-H	1次系洗浄水ライン	0.7	0.7	VT-2								-	-	○	
	C-H	1次系洗浄水系統	0.7	0.7	VT-2								-	-	○	
	C-H	原子炉補機冷却水系	0.2	0.2	VT-2								-	-	○	
C7.30 C7.70	C-H	RCP冷却水入口ライン	0.7	0.7	VT-2								-	-	○	
	C-H	RCP冷却水出口ライン	0.2	0.2	VT-2								-	-	○	
C7.30 C7.70	C-H	消火水系統	0.6	0.6	VT-2								-	-	○	

クラス3機器供用期間中検査10年計画

1. 余熱除去冷却器(胴側)

別紙-3(1/7)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	大飯発電所 第4号機 検査計画(10力年)									備考					
								2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年		2022年				
D1. 10	D-A	胴と当板との溶接継手	VT-3	代表1基の 7.5%	2箇所 /1基 x 2基	VT-3	代表1基の 100% (2箇所)															
F1. 44	F-A	支持脚	VT-3	代表1基の 7.5%	2箇所 /1基 x 2基	VT-3	代表1基の 100% (2箇所)															

2. 格納容器スプレイ冷却器(胴側)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	大飯発電所 第4号機 検査計画(10力年)									備考					
								2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年		2022年				
D1. 10	D-A	胴と当板との溶接継手	VT-3	代表1基の 7.5%	2箇所 /1基 x 2基	VT-3	代表1基の 100% (2箇所)															
F1. 44	F-A	支持脚	VT-3	代表1基の 7.5%	2箇所 /1基 x 2基	VT-3	代表1基の 100% (2箇所)															

クラス3機器供用期間中検査10年計画

3. 配管

維持規格 JSME S NAI - 2008		大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)										備考						
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2013年	2014年	2015年 第15回	2016年		2017年	2018年 第1回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第1回	2022年 第18回
D1. 20	D-A	配管の支持部材 取付け溶接継手 原子炉補機冷却 水系統	VT-3	全数の 7.5%	63箇所	VT-3	7.9% (5箇所)	1						2	1	-	1	
F1. 31	F-A	支持構造物 原子炉補機冷却 水系統	VT-3	全数の 7.5%	461箇所	VT-3	7.5% (35箇所)	6		5				-	5	-	5	

4. 弁

維持規格 JSME S NAI - 2008		大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)										備考						
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2013年	2014年	2015年 第15回	2016年		2017年	2018年 第1回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第1回	2022年 第18回
F1. 31	F-A	支持構造物 原子炉補機冷却 水系統	VT-3	全数の 7.5%	2箇所/ 1台 x 4台	VT-3	代表1台の 100%(2箇 所/1台)							-		-	2	

5. クラス3機器漏えい検査

クラス3機器供用期間中検査10年計画

別紙-3(3/7)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008		運転圧力 又は 最高使用 圧力 (MPa)	検査圧力 (MPa)	検査方法	大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)										備考								
		系統名	検査の対象箇所				ライン名	検査計画(10カ年)																	
								2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年		2022年							
D2. 10 D2. 30	D-B	原子炉補機冷却水系	原子炉補機冷却水ポンプ 及び出入ロライン	A, B原子炉補機冷却水ポンプ 入ロライン							○														
				C, D原子炉補機冷却水ポンプ 入ロライン						○															
				原子炉補機冷却水サージタンク 及び出入ロライン			●																		一部気圧検査
D2. 10 D2. 30	D-B	燃料ピット冷却浄化系	使用済燃料ピットポンプ入ロライン	A, B原子炉補機冷却水ポンプ 出ロライン							○														
				C, D原子炉補機冷却水ポンプ 出ロライン										○											
				使用済燃料ピットポンプ入ロライン			●																		
D2. 10 D2. 30	D-B	燃料ピット冷却浄化系	A使用済燃料ピットポンプ出ロライン													○									
				B使用済燃料ピットポンプ出ロライン															○						
D2. 30	D-B	制御用空気系統	A制御用空気出ロライン																						
				B制御用空気出ロライン																					

クラス3機器供用期間中検査10年計画

6. 原子炉補機冷却水冷却器

別紙-3(4/7)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	大飯発電所 第4号機 検査計画(10ヵ年)										備考						
								2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年							
D1.10	D-A	胴と当板との溶接継手	VT-3	代表1基の7.5%	3箇所/1基 ×2基	VT-3	代表1基の100% (3箇所)	第15回																
F1.44	F-A	支持脚	VT-3	代表1基の7.5%	3箇所/1基 ×2基	VT-3	代表1基の100% (3箇所)																	

7. 海水ストレーナ

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	大飯発電所 第4号機 検査計画(10ヵ年)										備考						
								2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年							
D1.10	D-A	鏡板とスカートとの溶接継手	VT-3	代表1基の7.5%	1箇所/1基 ×4基	VT-3	代表1基の100% (1箇所)	第15回																
F1.44	F-A	支持構造物(スカート)	VT-3	代表1基の7.5%	1箇所/1基 ×4基	VT-3	代表1基の100% (1箇所)																	

8. 非常用ディーゼル発電機清水冷却器

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	大飯発電所 第4号機 検査計画(10ヵ年)										備考						
								2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年							
D1.10	D-A	胴と当板脚との溶接継手	VT-3	代表1基の7.5%	2箇所/1基 ×2基	VT-3	代表1基の100% (2箇所)	第15回																
F1.44	F-A	支持脚	VT-3	代表1基の7.5%	2箇所/1基 ×2基	VT-3	代表1基の100% (2箇所)																	

クラス3機器供用期間中検査10年計画

別紙-3(5/7)

9. 非常用ディーゼル発電機潤滑油冷却器

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008	大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)										備考					
			検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2013年	2014年	2015年	2016年		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
D1.10	D-A	胴と当板との溶接継手	VT-3	代表1基の7.5%	2箇所/1基×2基	VT-3	代表1基の100% (2箇所)											B
F1.44	F-A	支持脚	VT-3	代表1基の7.5%	2箇所/1基×2基	VT-3	代表1基の100% (2箇所)											B

10. 配管

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008	大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)										備考								
			検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2013年	2014年	2015年	2016年		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年		
D1.20	D-A	配管の支持 部材取付け 溶接継手	原子炉補機 冷却海水系統	VT-3	全数の7.5%	83箇所	8.4% (7箇所)			2								1		1	
F1.31	F-A	支持構造物	原子炉補機 冷却海水系統	VT-3	全数の7.5%	RH: 168 AN: 298 466 箇所	7.7% (36箇所)			3								3		6	1
										4								5		10	4

クロス3機器供用期間中検査10年計画

別紙-3(6/7)

11. 弁

項目 番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NAI-2008		大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)													備考						
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年		2022年					
F1.31	F-A	支持構造物	VT-3	原子炉補機 冷却海水系統	VT-3	全数の 7.5%	3 箇所	RH: 3	VT-3	33% (1箇所)								1 (V- PMPW- 506)	-				

12. 原子炉補機冷却水ポンプ

項目 番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NAI-2008		大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)													備考							
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年		2022年						
F1.31	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台 の7.5%	4箇所/1台 × 4台	VT-3	代表1台 の100% (4箇所)												-					A

クラス3機器供用期間中検査10年計画

13. クラス3機器漏えい検査

別紙-3(7/7)

維持規格 JSME S NA1-2008		大飯発電所 第4号機 検査計画(10年間)										備考					
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所		検査方法	検査圧力 (MPa)	運転圧力は最高使用圧力 (MPa)	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年		2018年 第一回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第一回	2022年 第18回
		系統名	ライン名														
D2.10 D2.30	D-B	原子炉補機冷却海水系統	A/B原子炉補機冷却海水ポンプ出口ライン C原子炉補機冷却海水ポンプ出口ライン	VT-2	0.44	0.44						-			-	○	
D2.10 D2.30	D-B	非常用ディーゼル発電機系統	A-非常用ディーゼル発電機冷却水ライン B-非常用ディーゼル発電機冷却水ライン	VT-2	0.44	0.44						-	○		-		
D2.10 D2.30	D-B	非常用ディーゼル発電機系統	A-非常用ディーゼル発電機起動空気ライン B-非常用ディーゼル発電機起動空気ライン	VT-2	2.501	2.501						-	○		-		

クラス1機器Ni基合金使用部位特別検査10年計画

別紙-4(1/1)

機器名		大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)										備考
NRA文書(原規技発第1408063号)		2018年 第1回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第1回	2022年 第18回	2023年 第19回	2024年 第1回	2025年 第20回	2026年 第21回	2027年 第22回	
原子炉容器	原子炉容器底部の表面	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	計装用貫通部溶接継手	-	○		-		○	-				(重大事故等クラス2機器)
	検査頻度	100%/5年										
	検査範囲	58箇所										
	検査方法	BMV										

クラス2管(原子炉格納容器内)特別検査10年計画

別紙-5(1/1)

項目 番号	カテゴリ	NRA文書 原規技発第1408063号※1										大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)										備考				
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2009年 第一回	2010年 第13回	2011年 第14回	2012年 第15回	2013年	2014年	2015年 第15回	2016年	2017年	2018年 第一回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第一回	2022年 第18回		2023年 第19回			
		配管	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		抽出水ライン(3B)	体積	25%	19箇所	UT	5	2	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	
		充てんライン(3B)	体積	25%	35箇所	UT	9	4	—	—	—	—	2	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	1	(重大事故等クラス2機器)
		再生熱交換器連絡管	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		抽出水ライン連絡管(3B)	体積	25%	12箇所	UT	3	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		充てんライン連絡管(3B)	体積	25%	12箇所	UT	3	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(重大事故等クラス2機器)

※1:2014年8月以降は「NRA文書 原規技発第1408063号」を適用

原子炉格納容器供用期間中検査10年計画

別紙-6(1/1)

1. 原子炉格納容器

維持規格 JSME S NA1-2008		大飯発電所 第4号機 検査計画(10力年)													備考									
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年		2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	
E8. 10	E-G	圧力保持 用ボルト 締付付部 機器搬入口 (PEN #540)	VT-4	25%	1箇所	VT-4	25%						第一回	第一回	第一回	第一回	第一回	第一回	第一回	第一回	第一回	第一回	第一回	第一回

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表

別紙-7(2/32)

2. 配管(1/2)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NAI-2008 検査の対象箇所	検査範囲	検査方法	設備数	検査方法	検査範囲	大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)										備考
								2017年 第15回	2018年 第1回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第1回	2022年 第18回	2023年 第19回	2024年 第1回	2025年 第20回	2026年 第21回	
C3. 20	C-C	配管支持部材取付け溶接継手 原子炉補機冷却水ポンプ入口ライン	全数の7.5%	表面	3箇所	PT	33% (1箇所)	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
			全数の7.5%	表面	1箇所	PT	100% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C5. 11	C-F	呼び径100Aを超える管で公称厚さが9.5mmを超える溶接継手 主蒸気大気放出口ライン	全数の7.5%	表面	4箇所	PT	25% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
			全数の7.5%	体積又は表面	11箇所	PT	9% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C5. 12	C-F	呼び径100Aを超える管で公称厚さが9.5mmを超える溶接継手 原子炉補機冷却水戻り母管	全数の7.5%	表面	36箇所	PT	8% (3箇所)	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	
			全数の7.5%	体積及び表面	8箇所	UT及びPT	12% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C5. 12	C-F	呼び径100Aを超える管で公称厚さが9.5mmを超える溶接継手 原子炉補機冷却水戻り母管	全数の7.5%	表面	11箇所	PT	9% (1箇所)	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
			全数の7.5%	体積又は表面	46箇所	PT	8% (4箇所)	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
F1. 21	F-A	支持構造物 原子炉補機冷却水ポンプ入口ライン	全数の7.5%	VT-3	33箇所	VT-3	9% (3箇所)	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
			全数の7.5%	VT-3	11箇所	VT-3	9% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
F1. 21	F-A	支持構造物 原子炉補機冷却水ポンプ出口ライン	全数の7.5%	VT-3	54箇所	VT-3	9% (5箇所)	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	
			全数の7.5%	VT-3	97箇所	VT-3	8% (8箇所)	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1
F1. 21	F-A	支持構造物 格納容器スプレイポンプ入口ライン	全数の7.5%	VT-3	12箇所	VT-3	8% (1箇所)	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
			全数の7.5%	VT-3	6箇所	VT-3	16% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表

項目番号	カテゴリー	維持規格	JSM E S N A 1 - 2 0 0 8 検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)										備考		
									2017年 第15回	2018年 第16回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回	2022年 第20回	2023年 第21回	2024年 第22回	2025年 第23回	2026年 第24回			
F1. 21	F-A	支持構造物	格線容器スプレイ冷却器 出口ライン	VT-3	全数の 7.5%	13箇所	VT-3	7.6% (1箇所)	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-		
			RHR-CSS連絡ライン	VT-3	全数の 7.5%	8箇所	VT-3	12% (1箇所)	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
			恒設代替低圧注水ポンプ 出口ライン	VT-3	全数の 7.5%	42箇所	VT-3	9% (4箇所)	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
			可搬式代替低圧海水注入 ライン	VT-3	全数の 7.5%	1箇所	VT-3	100% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
			主蒸気大気放出ライン	VT-3	全数の 7.5%	4箇所	VT-3	25% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表

3. 格納容器スプレイポンプ

別紙-7(4/32)

項目番号	カテゴリ	維持規格	JSM E S NA1-2008	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)										備考		
										2017年 第15回	2018年 第16回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回	2022年 第20回	2023年 第21回	2024年 第22回	2025年 第23回	2026年 第24回			
C6. 10	C-G	ケージングの溶接継手	表面	代表1台 の7.5%	2箇所/ 1台×2台	PT	代表1台の 50% (1箇所/1台)	-	-	-	-	A 50%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
F1. 43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/ 1台×2台	VT-3	代表1台の 100% (2箇所/1台)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A 100%

4. 恒設代替低圧注水ポンプ

項目番号	カテゴリ	維持規格	JSM E S NA1-2008	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)										備考			
										2017年 第15回	2018年 第16回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回	2022年 第20回	2023年 第21回	2024年 第22回	2025年 第23回	2026年 第24回				
F1. 43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/ 1台×1台	VT-3	代表1台の 100% (2箇所/1台)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表

5. 弁

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S-NA1-2008 検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)										備考	
								2017年 第15回	2018年 第16回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回	2022年 第20回	2023年 第21回	2024年 第22回	2025年 第23回	2026年 第24回		
F1.43	F-A	支持構造物 格納容器再循環ユニット 出口ライン	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/ 1台×1台 1箇所/ 1台×1台	VT-3	代表1台の 100% (2箇所/1台)	-	-	-	-	-	-	-	-	4TCV- 2392A 2	4TCV- 2392A 4TCV- 2393D	4TCV- 2392A 4TCV- 2393D	4TCV- 2392A 4TCV- 2393D
			VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/ 1台×2台	VT-3	代表1台の 100% (1箇所/1台)	-	-	-	-	4V-CP- -024A 1	-	-	-	-	4V-CP- 024A・B	4V-CP- 024A・B	
			VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/ 1台×1台	VT-3	代表1台の 100% (1箇所/1台)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4V-RH- -061 1	4V-RH- -061 1
			VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/ 1台×4台	VT-3	代表1台の 100% (2箇所/1台)	-	-	-	-	4PCV- 3610 2	-	-	-	-	-	4PCV- 3610.3620. 3630.3640	4PCV- 3610.3620. 3630.3640

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表

6. 重大事故等クラス2機器漏えい検査(1/4)

別紙-7(6/32)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008		検査の対象箇所 ライン名	SA時最高使用圧力 (MPa) (工認記載値)	検査圧力 (MPa)	検査方法	大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)										備考						
		系統名						2017年 第15回	2018年 第1回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第2回	2022年 第18回	2023年 第19回	2024年 第1回	2025年 第20回	2026年 第21回							
		制御用空気系統	制御用空気ライン																					
C7. 30 C7. 70	C-H	制御用空気系統		A制御用空気ライン	0.98	0.74	VT-2		-					-						気圧検査				
				B制御用空気ライン	0.98	0.74	VT-2		-						-						気圧検査			
C7. 30 C7. 50 C7. 70	C-H			恒設代替低圧注水ポンプ入ロライン	0	水張り	VT-2		-															
				恒設代替低圧注水ポンプ出ロライン	2.1	2.1	VT-2		-															
				低圧注水ラインとのAMライン	4.5	4.5	VT-2		-															
				可搬式代替低圧注水ポンプ出ロライン	1.55	1.55	VT-2		-															
				A, B原子炉補機冷却水ポンプ入ロライン	1.4	0.34	VT-2		-															
C7. 10 C7. 30 C7. 50 C7. 70	C-H			C, D原子炉補機冷却水ポンプ入ロライン	1.4	0.34	VT-2		-															
				原子炉補機冷却水サージタンク及び 出入ロライン	0.34	0.02	VT-2		-															
				原子炉補機冷却水サージタンク壘素供給ライン	0.34	0.34	VT-2		-															
				原子炉補機冷却水系統	1.4	1.4	VT-2		-															
				A, D格納容器再循環ユニット冷却ライン	1.4	1.4	VT-2		-															
				A, D格納容器再循環ユニット冷却水放出ライン	1.4	1.4	VT-2		-															
				格納容器水素ガス試験冷却ライン	1.4	1.4	VT-2		-															
				A, B原子炉補機冷却水ポンプ出ロライン	1.4	0.96	VT-2		-															
		C, D原子炉補機冷却水ポンプ出ロライン	1.4	0.96	VT-2		-																	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表

6. 重大事故等クラス2機器漏えい検査(2/4)

別紙-7(7/32)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSMIE S NAI-2008 検査の対象箇所 系統名 ライン名	SA時最高使用圧力 (MPa) (工認記載値)	検査圧力 (MPa)	検査方法	大飯発電所 第4号機 検査計画(10年)										備考								
						2017年 第15回	2018年 第16回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回	2022年 第20回	2023年 第21回	2024年 第22回	2025年 第23回	2026年 第24回									
C7. 30 C7. 70	C-H	換気空調系統	0.0048	0.0048	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	気圧検査							
						-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	気圧検査				
C7. 10 C7. 30 C7. 50 C7. 70	C-H	化学体積制御系統	0.98	0.98	VT-2	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○							
						体積制御タンク出口ライン	0.11	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
						A充てんポンプ出口ライン	18.0	VT-2	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-		
						B充てんポンプ出口ライン	18.0	VT-2	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
						C充てんポンプ出口ライン	17.36	VT-2	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
						充てんポンプ自己冷却ライン (充てんポンプ出口側)	20.0	VT-2	20.0	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	
						充てんポンプ自己冷却ライン (充てんポンプ入口側)	0.98	VT-2	0.98	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
						ほう酸ポンプ及び充てんポンプ連絡ライン	0.98	VT-2	0.98	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	
						Aほう酸ポンプ入口ライン	0.05	VT-2	水張り	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	一部気圧検査
						Bほう酸ポンプ入口ライン	0.05	VT-2	水張り	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	一部気圧検査
Aほう酸ポンプ出口ライン	1.4	VT-2	1.4	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-						
Bほう酸ポンプ出口ライン	1.4	VT-2	1.4	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-						

※1:技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」により外観点検を実施

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表

6. 重大事故等クラス2機器漏えい検査(3/4)

別紙-7(8/32)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSMIE S NA1-2008		検査の対象箇所 ライン名	SA時最高使用圧力 (MPa) (工認記載値)	検査圧力 (MPa)	検査方法	大阪発電所 第4号機 検査計画(10カ年)										備考			
		2017年 第15回	2018年 第1回					2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第1回	2022年 第18回	2023年 第19回	2024年 第1回	2025年 第20回	2026年 第21回						
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	安全注入系統		A、B高圧注入ポンプ入ロライン	0.39	0.19	VT-2		-		○		-								
				A高圧注入ポンプ出ロライン(1)	16.7	10.01	VT-2		-						-	○					
				A高圧注入ポンプ出ロライン(2)	16.7	10.01	VT-2		-							-	○			RCS漏えい検査時実施	
				B高圧注入ポンプ出ロライン(1)	16.7	10.01	VT-2		-						○						
				B高圧注入ポンプ出ロライン(2)	16.7	10.01	VT-2		-							○					RCS漏えい検査時実施
				格納容器再循環サブ出ロライン	0.43	水張り	VT-2		-						○						ガード/ハイブ内包部分は 検査不可
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	余熱除去系統		蓄圧タンク及び出ロライン	4.9	4.42	VT-2		-							○					
				燃料取替用水ピット出ロライン	0	水張り	VT-2		-												
				A余熱除去ポンプ入ロライン	4.5	2.75	VT-2		-									○			
				B余熱除去ポンプ入ロライン	4.5	2.75	VT-2		-									○			
				A余熱除去ポンプ出ロライン	4.5	3.78	VT-2		-									○			
				B余熱除去ポンプ出ロライン	4.5	3.78	VT-2		-									○			

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表

6. 重大事故等クラス2機器漏えい検査(4/4)

別紙一7(9/32)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSMIE S NA1-2008 検査の対象箇所 系統名	SA時最高使用圧力 (MPa) (工認記載値)	検査圧力 (MPa)	検査方法	大阪発電所 第4号機 検査計画(10カ年)										備考											
						2017年 第15回	2018年 第16回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回	2022年 第20回	2023年 第21回	2024年 第22回	2025年 第23回	2026年 第24回												
C7. 10 C7. 30 C7. 50 C7. 70	C-H	格納容器スプレイ 系統	0.39	0.19	VT-2	A格納容器スプレイポンプ入口ライン																					
						B格納容器スプレイポンプ入口ライン																					
						A格納容器スプレイポンプ出口ライン(1)																					
						A格納容器スプレイポンプ出口ライン(2)																					
						B格納容器スプレイポンプ出口ライン(1)																					
C7. 10 C7. 30 C7. 70	C-H	主蒸気系統	8.8	7.4	VT-2	A蒸気発生器蒸気出口ライン																					
						B蒸気発生器蒸気出口ライン																					
						C蒸気発生器蒸気出口ライン																					
						D蒸気発生器蒸気出口ライン																					
						A蒸気発生器給水入口ライン																					
C7. 30 C7. 70	C-H	主給水系統	8.8	7.4	VT-2	B蒸気発生器給水入口ライン																					
						C蒸気発生器給水入口ライン																					
						D蒸気発生器給水入口ライン																					
						格納容器水素ガス試料採取系統 入口ライン																					
						格納容器水素ガス試料採取系統 出口ライン																					

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表(クラス1機器供用期間中検査範囲)

別紙-7(10/32)

1. 原子炉容器(1/2)

維持規格 JSME S-NA1-2008		大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査範囲	
B2. 111	B-B	上部胴と下部胴との周溶接継手	全長の5%	
		下部胴とトランジションリングとの周溶接継手	全長の5%	
		トランジションリングと下部鏡板との周溶接継手	全長の5%	
B3. 105	B-C	上部胴と上部胴フランジとの溶接継手	全長の100%	
		冷却材入口管台と胴との溶接継手	全長の100%	
B3. 10	B-D	冷却材出口管台と胴との溶接継手	全長の100%	
B3. 20	B-D	冷却材入口管台内面の丸みの部分	全長の100%	
		冷却材入口管台とセーフエンドとの溶接継手	全長の100%	
B5. 10	B-F	冷却材出口管台とセーフエンドとの溶接継手	全長の100%	
B6. 10	B-G-1	ナット	VT-1	
B6. 30	B-G-1	スタッドボルト	体積	
B6. 40	B-G-1	胴フランジネジ穴のネジ部	体積	
B6. 50	B-G-1	上蓋用ワッシャ	VT-1	
B7. 10	B-G-2	T/Cハウジングのマーキングランプ用ボルト・ナット	VT-1	
G1. 10	G-P-1	原子炉容器内部	VT-3	全範囲の7.5% 全検査時期毎
G1. 40	G-P-1	内部取付け物	VT-3	全範囲の7.5%

クラス1機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表(クラス1機器供用期間中検査範囲)

別紙-7(11/32)

1. 原子炉容器(2/2)

項目番号		カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
G1. 40	G-P-1		上部炉心支持構造物	VT-3	全範囲の 7.5%	
G1. 50	G-P-2		下部炉心支持構造物	VT-3	全範囲の 7.5%	
B14. 10	B-O		制御棒駆動ハウジングの溶接継手(上部) 制御棒駆動ハウジングの溶接継手(下部)	体積又は 表面	最外周 25%	
B15. 10	B-P		圧力保持範囲	VT-2	漏えい 検査時 100%	
F1. 41	F-A		支持構造物	VT-3	全数の 25%	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表(クラス1機器供用期間中検査範囲)

別紙-7(12/32)

2. 加圧器(1/2)

維持規格 JSME S NA1-2008		大飯発電所 第4号機 検査計画(10力年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査範囲	
B2. 11	B-1-B	上部鏡板と上部胴との周継手	全長の5% 体積	
		下部胴と下部鏡板との周継手	全長の5% 体積	
B2. 12	B-1-B	上部胴の長手継手	全長の10% 体積	
		中間胴の長手継手	全長の10% 体積	
		下部胴の長手継手	全長の10% 体積	
B2. 13	B-1-B	上部胴と中間胴との周継手	全長の5% 体積	
		中間胴と下部胴との周継手	全長の5% 体積	
B3. 30	B-1-D	安全弁用管台と容器との溶接継手	全数の25% 体積	
		逃がし弁用管台と容器との溶接継手		
		スプレイ用管台と容器との溶接継手		
		サージ用管台と容器との溶接継手		
B3. 40	B-1-D	安全弁用管台内面の丸みの部分	全数の25% 体積	
		逃がし弁用管台内面の丸みの部分		
		スプレイ用管台内面の丸みの部分		
		サージ用管台内面の丸みの部分		

クラス1機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表(クラス1機器供用期間中検査範囲)

別紙-7(13/32)

2. 加圧器(2/2)

項目番号		カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 検査の対象箇所		検査方法	検査範囲	備考
B5. 40	B-F		安全弁用管台とセーフエンドとの溶接継手		体積及び 表面	全数の 25%	
			逃がし弁用管台とセーフエンドとの溶接継手				
			スプレイ用管台とセーフエンドとの溶接継手				
			サージ用管台とセーフエンドとの溶接継手				
B7. 20	B-G-2		マンホール取付ボルト		VT-1	全数の 25%	クラス1機器供用期間中検査で管理
B8. 20	B-H		支持部材の容器への取付け溶接継手 (スカート溶接継手)		表面又は 体積	全長の 7.5%	
B15. 20	B-P		圧力保持範囲		VT-2	漏えい 検査時 100%	
F1. 41	F-A		支持構造物(スカート、基礎ボルト含む)		VT-3	全数の 25%	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表(クラス1機器供用期間中検査範囲)

別紙-7(14/32)

3. 蒸気発生器(1/1)

維持規格 JSME S NA1-2008		大飯発電所 第4号機 検査計画(10方年)	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査範囲
B2. 40	B-B	管板と水室鏡板との溶接継手	代表1基 全長の 25%
B3. 60	B-D	冷却材入口管台の内面の丸みの部分	代表1基 全長の 25%
		冷却材出口管台の内面の丸みの部分	
B5. 70	B-F	冷却材入口管台とセーフエントとの溶接継手	代表1基 全長の 25%
		冷却材出口管台とセーフエントとの溶接継手	
B7. 30	B-G-2	1次側マンホールボルト(入口側)	代表1基 全長の 25%
		1次側マンホールボルト(出口側)	
B8. 30	B-H	水室鏡とサポータヘッドとの溶接継手	代表1基 全長の 7.5%
B15. 30	B-P	圧力保持範囲	漏えい 検査時 100%
F1. 41	F-A	支持構造物	代表1基 の25%

クラス1機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表(クラス1機器供用期間中検査範囲)

別紙-7(15/32)

4. 配管(1/3)

維持規格 JSME S NA1-2008		大崎発電所 第4号機 検査計画(10年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法 検査範囲	
B9. 11	B-J	1次冷却材管	体積 全数の25%	クラス1機器供用期間中検査で管理
		加圧器サージライン	体積 全数の25%	
		加圧器安全弁ライン	体積 全数の25%	
		加圧器逃がし弁ライン	体積 全数の25%	
		余熱除去ポンプ入口ロライン	体積 全数の25%	
		SIS蓄圧注入ライン	体積 全数の25%	
		SIS低温側低圧注入ライン	体積 全数の25%	
		加圧器逃がし弁ライン	表面 全数の25%	
		余熱除去ポンプ入口ロライン	表面 全数の25%	
		CVCS充てんライン	表面 全数の25%	
B9. 21	B-J	配管の同種金 属溶接継手 (呼び径100A 未満:周継手)	表面 全数の25%	
		SIS低温側高圧補助注入 ライン	表面 全数の25%	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表(クラス1機器供用期間中検査範囲)

別紙-7(16/32)

4. 配管(2/3)

項目番号		カテゴリ	維持規格 JSME S NAI-2008 検査の対象箇所		検査方法	検査範囲	備考
B9. 31	B-J	母管と管台との溶接継手(呼び径100A以上)	1次冷却材管	体積	全数の25%		
B9. 32	B-J	母管と管台との溶接継手(呼び径100A未満)	1次冷却材管	表面	全数の25%		
			余熱除去ポンプ入口ライン	表面	全数の25%		
			SIS蓄圧注入ライン	表面	全数の25%		
B9. 40	B-J	ソケット溶接継手	SIS低温側低圧注入ライン	表面	全数の25%		
B10. 20	B-K	耐圧部分への取付支持部分の取付け溶接継手	SIS低温側高圧補助注入ライン	表面	全数の25%		
B15. 50	B-P	圧力保持範囲	余熱除去ポンプ入口ライン	表面	全数の26%		
						漏えい検査時100%	
						VT-2	
						クラス1機器供用期間中検査で管理	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表(クラス1機器供用期間中検査範囲)

別紙-7(17/32)

4. 配管(3/3)

維持規格 JSME S-NA1-2008		大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)		備考	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法 検査範囲		
F1.10	F-A	支持構造物	加圧器サージライン	VT-3 全数の25%	クラス1機器供用期間中検査で管理
			加圧器遮がし弁ライン	VT-3 全数の25%	
			CVCS充てんライン	VT-3 全数の25%	
			余熱除去ポンプ入口ライン	VT-3 全数の25%	
			SIS蓄圧注入ライン	VT-3 全数の25%	
			SIS低温側低圧注入ライン	VT-3 全数の25%	
			SIS低温側高圧補助注入ライン	VT-3 全数の25%	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表(クラス1機器供用期間中検査範囲)

項目番号		カテゴリ	維持規格 JSME S-NA1-2008		大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)		備考
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲			
B6. 180		主フランジボルト	体積	代表1台の 25%			
B6. 190	B-G-1	主フランジ表面	VT-1	代表1台の 25%			
B6. 200		主フランジナット・ワッシャ	VT-1	代表1台の 25%	クラス1機器供用期間中検査で管理		
B12. 20	B-L-2	ケーシングの内表面	VT-3	代表1台の 100%			
B15. 60	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい 検査時 100%			
F1. 41	F-A	支持構造物	VT-3	代表1台の 25%			

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表(クラス1機器供用期間中検査範囲)

別紙-7(19/32)

6. 弁(1/2)

項目番号		カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
B7. 70	B-G-2		加圧器安全弁ライン	VT-1	代表1台 の25%	クラス1機器供用期間中検査で管理
			加圧器逃がし弁ライン	VT-1	代表1台 の25%	
			CVCS充てんライン	VT-1	代表1台 の25%	
B12. 50	B-M-2	呼び径 100Aを超 える弁箱	余熱除去ポンプ入ロライン	VT-1	代表1台 の25%	クラス1機器供用期間中検査で管理
			SIS蓄圧注入ライン	VT-1	代表1台 の25%	
			SIS低温側低圧注入ライン	VT-1	代表1台 の25%	
B15. 70	B-P	圧力保持範囲	加圧器安全弁ライン	VT-3	代表1台 の100%	クラス1機器供用期間中検査で管理
			余熱除去ポンプ入ロライン	VT-3	代表1台 の100%	
			SIS蓄圧注入ライン	VT-3	代表1台 の100%	
			SIS低温側低圧注入ライン	VT-3	代表1台 の100%	
				VT-2	漏えい 検査時 100%	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表(クラス1機器供用期間中検査範囲)

別紙-7(20/32)

6. 弁(2/2)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSM E S NA1-2008		検査方法	検査範囲	備考
		検査の対象箇所				
F1.41	F-A	加圧器安全弁ライン		VT-3	代表1台の25%	クラス1機器供用期間中検査で管理
				VT-3	代表1台の25%	
		支持構造物 加圧器逃がし弁ライン		VT-3	代表1台の25%	
			余熱除去ポンプ入ロライン	VT-3	代表1台の25%	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表(クラス1機器N基金使用部位特別検査範囲)

別紙-7(21/32)

機器名		NRA文書(原規技発第1408063号)		大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)		備考
検査の対象箇所		検査方法	検査範囲	検査頻度		
原子炉容器	原子炉容器底部の表面	-	-	100%/5年		クラス1機器N基金使用部位特別検査で管理
	計装用貫通部溶接継手	BMV	58箇所			

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表(クラス2管(原子炉格納容器内)特別検査)

別紙-7(22/32)

NRA文書(原規技発第1408063号)		大飯発電所 第4号機 検査計画(10万年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法 検査範囲	
-	-	配管	-	クラス2管(原子炉格納容器内)特別検査で管理
		充てんライン(3B)	体積 25%	
		再生熱交換器連絡管	-	
		充てんライン連絡管(3B)	体積 25%	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表(クラス2機器供用期間中検査範囲)

1. 余熱除去冷却器

別紙-7(23/32)

項目番号		カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 検査の対象箇所	検査方法	検査範囲
C1. 10	C-A		管側胴と管側フランジとの周溶接継手	体積	代表1基 全底の 7.5%
C1. 20	C-A		管側鏡板と管側胴との溶接継手	体積	代表1基 全底の 7.5%
C2. 21	C-B		管側入口管台と管側胴との溶接継手	体積及び 表面	代表1基 全数の 7.5%
			管側出口管台と管側胴との溶接継手		
C4. 10	C-D		全ねじボルト	体積	代表1基 全数の 7.5%

クラス2機器供用期間中検査で管理

大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)

備考

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表(クラス2機器供用期間中検査範囲)

別紙-7(24/32)

2. 配管(1/3)

項目番号		カテゴリ	維持規格 JSME S-NA1-2008 検査の対象箇所		検査方法	検査範囲	備考
C3. 20	C-C		配管支持部 材取付け溶 接継手	高圧注入ポンプ出口ライン	表面	全数の 7.5%	
				高圧注入ポンプ出口連絡 ライン	表面	全数の 7.5%	
				余熱除去ポンプ入口ライン	表面	全数の 7.5%	
				余熱除去冷却器出口ライン	表面	全数の 7.5%	
				SIS低温側低圧注入ライン	表面	全数の 7.5%	
				格納容器再循環サンプ出口 ライン	表面	全数の 7.5%	
				充てんポンプ出口ライン	体積及び 表面	全数の 7.5%	
				余熱除去ポンプ入口ライン	体積又は 表面	全数の 7.5%	
				余熱除去ポンプ出口ライン	体積又は 表面	全数の 7.5%	
				余熱除去冷却器出口ライン	体積及び 表面	全数の 7.5%	
C5. 11	C-F		呼び径100A を超える管 で公称厚さ が9.5mmを 超える溶接 継手	SIS低温側低圧注入ライン	体積及び 表面	全数の 7.5%	
				高圧注入ポンプ出口ライン	体積及び 表面	全数の 7.5%	

クラス2機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表(クラス2機器供用期間中検査範囲)

別紙-7(25/32)

2. 配管(2/3)

項目番号		カテゴリ	維持規格 JSMIE S_NA1-2008		大飯発電所 第4号機 検査計画(10力年)		備考
			検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
C5. 11	C-F		格納容器再循環サンプ出口ライン	体積又は表面	全数の7.5%		
			呼び径100Aを超える管で公称厚さが9.5mmを超える溶接継手	体積又は表面	全数の7.5%		
C5. 12	C-F		燃料取替用水ピット出口ライン 余熱除去ポンプ入口ライン 燃料取替用水ピット出口ライン	体積又は表面	全数の7.5%		
			呼び径50A以上100A以下の管で公称厚さが5mmを超える溶接継手	体積又は表面	全数の7.5%		
C5. 21	C-F		高圧注入ポンプ出口ライン 高圧注入ポンプ出口連絡ライン SIS低温側高圧補助注入ライン	表面	全数の7.5%		クラス2機器供用期間中検査で管理
			ソケット溶接継手	表面	全数の7.5%		
C5. 30	C-F		SIS低温側高圧補助注入ライン	表面	全数の7.5%		
C5. 41	C-F		呼び径50Aを超える母管と管台及び母管と枝管との溶接継手	表面	全数の7.5%		

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表(クラス2機器供用期間中検査範囲)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NAI-2008		検査範囲	備考
		検査の対象箇所	検査方法		
F1.21	F-A	支持構造物	充てんポンプ出口ライン	VT-3 全数の 7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理
			余熱除去ポンプ入口ライン	VT-3 全数の 7.5%	
			余熱除去ポンプ出口ライン	VT-3 全数の 7.5%	
			余熱除去冷却器出入口ライン	VT-3 全数の 7.5%	
			余熱除去冷却器出口ライン	VT-3 全数の 7.5%	
			SIS低温側低圧注入ライン	VT-3 全数の 7.5%	
			高圧注入ポンプ出口ライン	VT-3 全数の 7.5%	
			高圧注入ポンプ出口連絡ライン	VT-3 全数の 7.5%	
			SIS低温側高圧補助注入ライン	VT-3 全数の 7.5%	
			格納容器再循環サンプ出口 ライン	VT-3 全数の 7.5%	
燃料取替用水ヒート出口ライン	VT-3 全数の 7.5%				

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表(クラス2機器供用期間中検査範囲)

別紙-7(27/32)

3. 充てんポンプ

維持規格 JSME S_NA1-2008		大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法 検査範囲	
C3. 30	C-C	ポンプ支持部材取付け溶接継手	表面 全数の7.5%	
C4. 30	C-D	ケーシングボルト	体積 代表1台の7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理
C6. 10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面 代表1台の7.5%	
F1. 43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3 代表1台の7.5%	

4. 充てんポンプ(往復動式)

維持規格 JSME S_NA1-2008		大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法 検査範囲	
F1. 43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3 全数の7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理

5. 余熱除去ポンプ

維持規格 JSME S_NA1-2008		大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法 検査範囲	
C6. 10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面 代表1台の7.5%	
F1. 43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3 代表1台の7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表(クラス2機器供用期間中検査範囲)

6. 弁

別紙-7(28/32)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S-NA1-2008			大阪発電所 第4号機 検査計画(10カ年)		備考
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲			
F1.43	F-A	支持構造物	余熱除去冷却器出入口ライン	VT-3	代表1台の7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理	4HCV-603 4HCV-613
			余熱除去冷却器出口ライン	VT-3	代表1台の7.5%		4V-RH-043A・B
			格納容器再循環サブ出口ライン	VT-3	代表1台の7.5%		4V-SI-093A・B

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画

別紙-7(30/32)

1.原子炉補機冷却水冷却器

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008	大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)												備考		
			検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2017年 第15回	2018年 第一回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第一回	2022年 第18回		2023年 第19回	2024年 第一回
C1.10	C-A	胴側胴と胴側フランジとの周継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	2箇所/1基 x 1基 (A)	UT	代表1基の7.5% (2箇所)	-	-	-	-	-	-	-	A	7.5%	
C2.21	C-B	胴側入口管台と胴側胴との溶接継手	体積及び表面	代表1基の全数の7.5%	1箇所/1基 x 1基 (A)	UT及びPT	代表1基の50% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	A	入口側		
																	C2.22
C3.10	C-C	胴と当板との溶接継手	表面	代表1基の溶接継手数の7.5%	3箇所/1基 x 1基 (A)	PT	代表1基の100% (3箇所)	-	-	-	-	-	-	A	100%		
																	F1.43

2.原子炉補機冷却水ポンプ(1/1)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008	大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)												備考			
			検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2017年 第15回	2018年 第一回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第一回	2022年 第18回		2023年 第19回	2024年 第一回	2025年 第20回
F1.43	F-A		ポンプ台板脚	VT-3	代表1基の7.5%	4箇所/1台 x 2台 (A, B)	VT-3	代表1台の100% (4箇所)	-	-	-	-	A	100%	-	-	-	-

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画

別紙-7(31/32)

3.重大事故等クラス2機器漏えい検査(1/1)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008		SA時最高使用圧力 (MPa) (工認記載値)	検査圧力 (MPa)	検査方法	大飯発電所 第4号機 検査計画(10カ年)										備考									
		系統名	検査の対象箇所 ライン名				2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年										
							第15回	第一回	第16回	第17回	第一回	第18回	第19回	第一回	第20回	第21回										
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	D-B	原子炉補機 冷却海水系統	A 海水ポンプライン	1.2	0.098	VT-2		-			-															
			B 海水ポンプライン	1.2	0.098	VT-2		-																		
			C 海水ポンプライン	1.2	0.098	VT-2		-																		
			A 海水ヘッド出ロライン	1.2	0.098	VT-2		-																		
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	補助給水系統	A, B 電動補助給水ポンプ入 ロライン	0	水張り (静水頭圧)	VT-2		-																		
			タービン動補助給水ポンプ入 ロライン	0	水張り (静水頭圧)	VT-2		-																		
			A 電動補助給水ポンプ出ロラ イン	13.1	9.4	VT-2		-																		
			B 電動補助給水ポンプ出ロラ イン	13.1	9.4	VT-2		-																		
C7.10	C-H	非常用ディーゼル発電機 系統	タービン動補助給水ポンプ出 ロライン	12.7	9.4	VT-2		-																		
			A-非常用ディーゼル発電機 起動空ライン	3.2	2.501	VT-2		-																		
			B-非常用ディーゼル発電機 起動空ライン	3.2	2.501	VT-2		-																		

重大事故等クラス2供用期間中検査10年計画

別紙-7(32/32)

・プレストレストコンクリート格納容器

検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	頻度	大阪発電所 第4号機 検査計画(10か年)										備考		
				2017年 第15回	2018年 第一回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第一回	2022年 第18回	2023年 第19回	2024年 第一回	2025年 第20回	2026年 第21回			
コンクリート部	目視検査	PCCV表面選定部位 検査テンドン定着部周辺	PCCV-ISIの 頻度による	● ※	-		○	-	-	-	-	-	-	○		
ライナプレート部	目視検査	ライナプレート表面選定部位	PCCV-ISIの 頻度による	● ※	-		○	-	-	-	-	-	-	○		
緊張材定着部	目視検査	検査テンドンの緊張材定着部表面	PCCV-ISIの 頻度による	● ※	-		○	-	-	-	-	-	-	○		
テンドン	緊張力確認検査	フープテンドン 4本 逆Uテンドン 3本	PCCV-ISIの 頻度による	● ※	-		○	-	-	-	-	-	-	○		
防錆材	防錆材検査	検査テンドンの端部から採取	PCCV-ISIの 頻度による	● ※	-		○	-	-	-	-	-	-	○		

※平成28年度実施のプレストレストコンクリート格納容器供用期間中検査自主検査の記録確認

重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画

重大事故等クラス3機器漏えい検査

別紙-8(1/5)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSM E S NA1-2008 準拠 検査の対象箇所 設備名	SA時最高使用圧力 (MPa) (工認記載値)	検査方法 ※	大阪発電所 第4号機 検査計画(10カ年)										備考		
					2017年 第15回	2018年 第1回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第1回	2022年 第18回	2023年 第19回	2024年 第1回	2025年 第20回	2026年 第21回			
C7.10 C7.30 C7.50	C-H	電源車内燃機関、冷却水ポンプ (電源車)	-	VT-2		-			-			○		-			
		電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用)内燃機関、冷却水ポンプ (電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用))	-	VT-2		-			-					-	○		
		燃料タンク (電源車)	大気圧	VT-2		-			-				○		-		
		燃料タンク (電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用))	大気圧	VT-2		-			-						-	○	

※: 技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」により外観点検を実施するものと試験免除となるものを識別する必要がある(今後の成立性確認ならびに原子力事業本部からの指示にて美浜、高浜との統一が必要)

重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画

重大事故等クラス3機器漏えい検査

別紙-8(2/5)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 雑弧 検査の対象箇所		SA時最高使用圧力 (MPa) (工認記数値)	検査方法 ※	大阪発電所 第4号機 検査計画(10カ年)										備考		
		設備名	検査の対象箇所			2017年 第15回	2018年 第1回	2019年 第16回	2020年 第17回	2021年 第1回	2022年 第18回	2023年 第19回	2024年 第1回	2025年 第20回	2026年 第21回			
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	可搬式空気圧縮機(代替制御用空気供給用)	雑弧	0.90以上	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○		
		可搬式空気圧縮機用空気だめ	雑弧	1.05	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	
		増圧装置用空気だめ	雑弧	1.0	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	
		窒素ボンベ(代替制御用空気供給用)	雑弧	14.7	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	
		窒素ボンベ(代替制御用空気供給用)～ホース先端	雑弧	0.98 17.16	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	
		代替制御用空気ライン窒素供給用ホース 20m、16m、10mホース	雑弧	0.98	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	
		窒素ラインミニホールド連結用0.68mホース	雑弧	17.16	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	
		可搬式空気圧縮機ラインミニホールド接続用2mホース	雑弧	0.98	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	
		可搬式空気圧縮機ラインミニホールド接続用1.5mホース	雑弧	0.98	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	
		可搬式空気圧縮機ラインミニホールド接続用5mホース	雑弧	0.98	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	
代替制御用空気供給ライン安全弁(4V-1A-765A、B)	雑弧	吹出圧力 0.98	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○			

※: 技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」により外観点検を実施するものと試験免除となるものを識別する必要がある(今後の成立性確認ならびに原子力事業本部からの指示にて美浜、高浜との統一が必要)

重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画

重大事故等クラス3機器漏えい検査

別紙-8(4/5)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 準拠		検査方法 ※	SA時最高使用圧力 (MPa) (工程運転値)	大飯発電所 第4号機 検査計画(10力年)										備考				
		検査の対象箇所 設備名				2017年 第15回	2018年 第16回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回	2022年 第20回	2023年 第21回	2024年 第22回	2025年 第23回	2026年 第24回					
C7. 30 C7. 50	C-H	送水車(2台)	送水車吸水用ホース(24本)	VT-2	1.6	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
				VT-2	0.4	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
C7. 10 C7. 50	C-H	送水車送水用ホース(138本)	送水車燃料タンク(2基)	VT-2	1.6	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
				VT-2	大気圧	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
C7. 10 C7. 30 C7. 50	C-H	可搬式代替低圧注水ポンプ(2台)	仮設組立式水槽(2台)	VT-2	1.55	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○		
				VT-2	大気圧	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	
				VT-2	大気圧	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
				VT-2	1.55	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
				VT-2	1.55	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
C7. 10 C7. 30 C7. 70	C-H	可搬式代替低圧注水ポンプ送水用ホース(6本)		VT-2	1.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-			

※: 技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」により外観点検を実施するものと試験免除となるものを識別する必要がある(今後の成立性確認ならびに原子力事業本部からの指示にて美浜、高浜との統一が必要)

保 全 に 関 す る 実 施 体 制

保全に関する実施体制

1. 大飯発電所の保守管理体制

大飯発電所第4号機の第16保全サイクルにおける保守管理体制を下図に示す。

